

今後の大阪のまちづくりの方向性

—大阪都市計画局が担う大阪のまちづくり—

2022年2月25日

大阪都市計画局 技監 尾花 英次郎

【目次】

- 【1】 大阪都市計画局の役割と体制
- 【2】 大阪・関西万博の概要について
- 【3】 大阪都市計画局がつくるまちづくりの方針
- 【4】 大阪都市計画局が取組む4つの広域拠点
【うめきた】【新大阪駅前】【大阪城東部】【夢洲・咲州】
- 【5】 大阪都市計画局が担う都市計画のワンストップ窓口
- 【6】 大阪都市計画局が取組む府内の事業

【1】 大阪都市計画局の役割と体制

大阪都市計画局設置の背景(一元化条例の策定)

(2021年1月 副首都推進本部会議資料より抜粋)

過去の二重行政の大阪

- 大阪市は市域内、大阪府は市域外
- 府市の連携不足
- 府市それぞれで成長の方針・計画
- 大阪市が市内のまちづくり

現在の府市一体の大阪

- 大阪府域全体の成長の視点
- 府市で密接に連携
- 府市の成長戦略を一本化
- 府市一体で市内のまちづくり

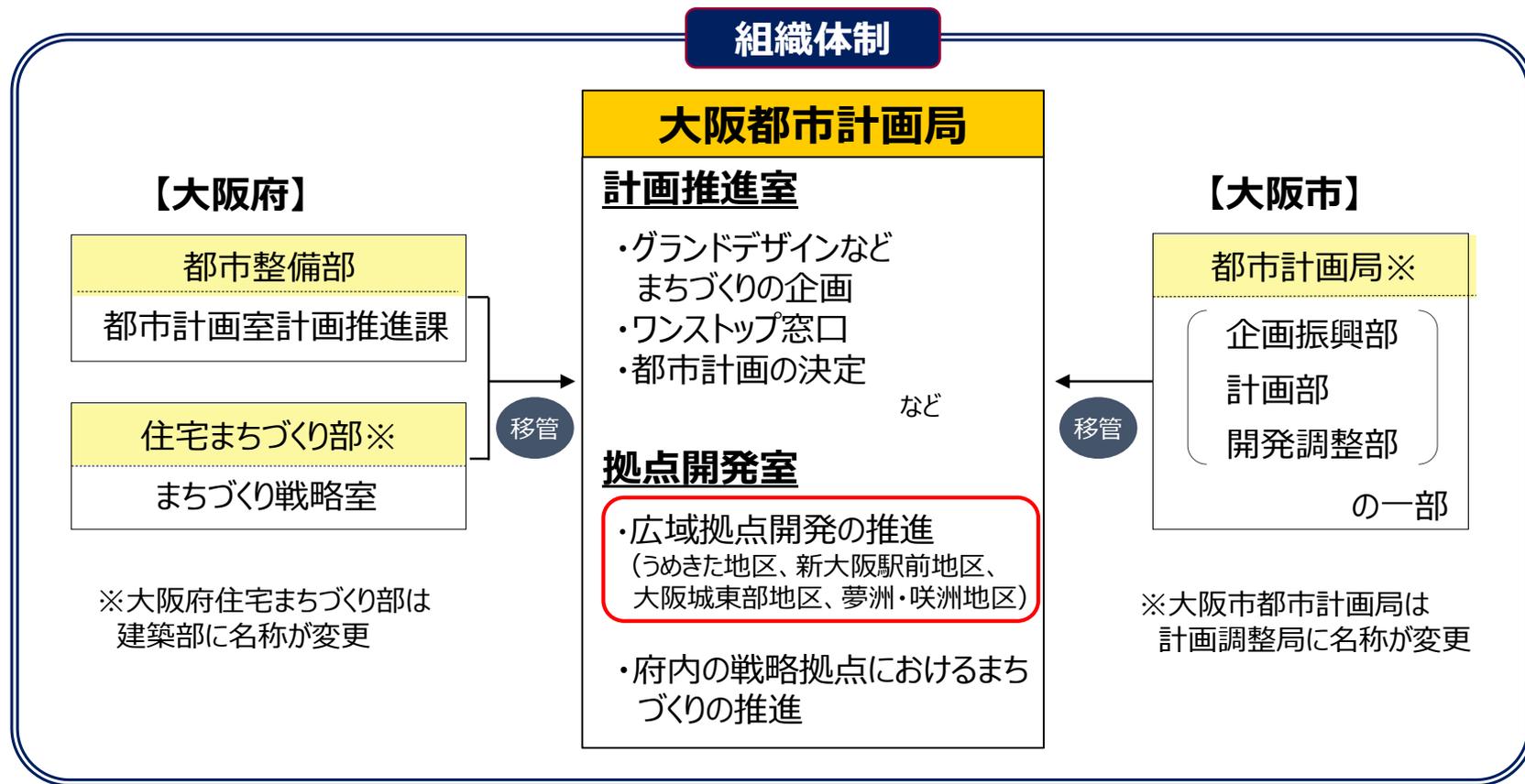
- ◆ 過去の二重行政に戻すことなく、府市一体の大阪を継承・強化
- ◆ 今後の成長に関する方針の統一や一体的なまちづくり等に資する条例を速やかに制定することが必要

「大阪府及び大阪市における一体的な行政運営の推進に関する条例」の策定（2021年3月）

本条例に基づき、大阪の成長や発展を支える大都市のまちづくりについて、広域的な視点から府市一体で推進するため、大阪府及び大阪市共同で**大阪都市計画局**を設置（2021年11月）

大阪都市計画局の役割と体制

主な業務として、**グランドデザイン**などのまちづくりの企画や、**ワンストップ窓口を設置し、都市計画の決定**を担い、**拠点開発を推進**する。



府市一体でまちづくりを推進

【2】大阪・関西万博の概要について

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) ~概要~

【開催概要】

- テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」
- サブテーマ **Saving Lives** (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)
- 開催期間：2025年4月13日～10月13日(184日間)
- 入場者数：約2,800万人(想定)
- 開催場所：夢洲(大阪市此花区)
- アクセス：地下鉄中央線の延伸計画、主要駅からのシャトルバスの運行 等

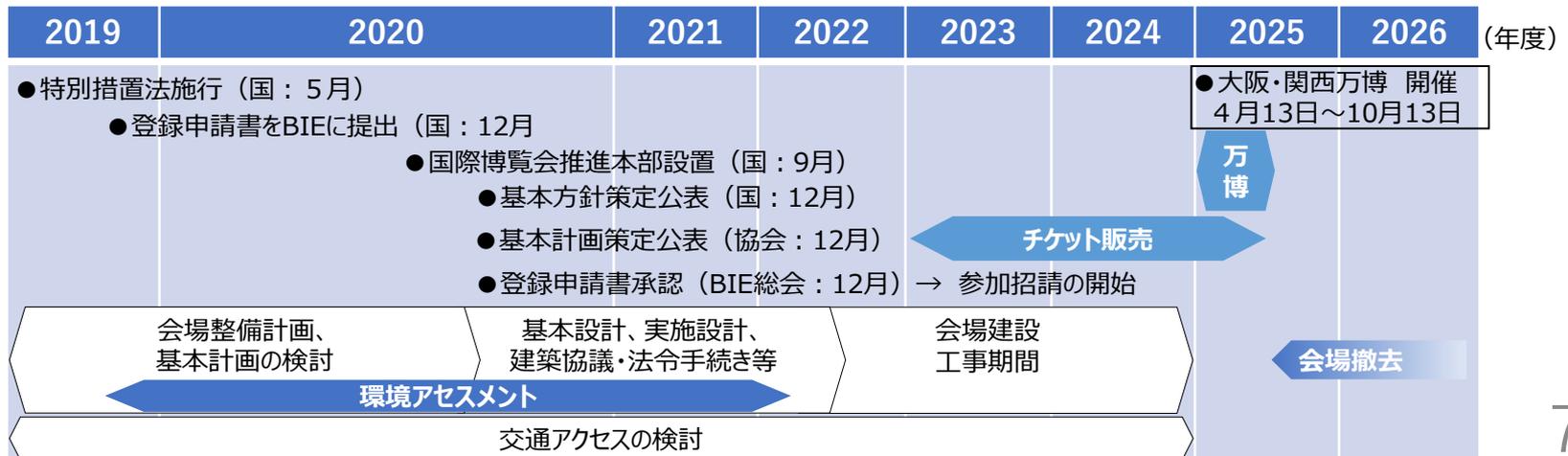


出典：2025年日本国際博覧会協会

【経費等】

事業費(想定)		負担
会場建設費	約1,850億円	国・自治体・経済界
運営費	約820億円	入場料収入等

【スケジュール】



夢洲:万博会場予定地



大阪の発展をめざして

成長に向けた長期的な方向性
(イメージ)

副首都・大阪の実現

国際金融都市の実現

リニア中央新幹線大阪開業

北陸新幹線大阪開業

なにわ筋線の整備

2030

大阪モノレール延伸

2029

IR開業

淀川左岸線（2期）の整備

2026

大阪公立大学森之宮キャンパス開所

2025

大阪・関西万博

空飛ぶクルマの実用化

うめきた2期先行まちびらき

2024

中之島4丁目未来医療国際拠点オープン

2023

G7関係閣僚会合開催（誘致中）

2022

大阪公立大学開学、スーパーシティ区域指定（提案中）

※数字は年度（「大阪モノレール延伸」のみ年）

—2025年頃の大阪をとりまく状況—

- 北陸新幹線 2023年度 金沢～敦賀間開業予定
- 北大阪急行延伸 2023年度 千里中央～箕面萱野間開業予定
- うめきた2期 2023年 2024年 2027年 うめきた新駅(名称:大阪駅)開業予定
公園と民間開発の概成予定(先行まちびらき)
基盤整備の全体完成予定
- 中之島 2024年 未来医療国際拠点の開業予定
- 御堂筋の整備 2025年 側道歩行者空間化(検討中)(なんば～新橋区間)
- 大阪城東部 2025年 大阪公立大学森之宮キャンパス(1期)開所予定
- 夢洲 **2025年** **大阪・関西万博**
- 淀川左岸線2期 2025年 2026年度末 万博会場までのシャトルバスルートとして暫定利用
此花区高見～北区豊崎(4.3キロメートル)完成予定

【3】大阪都市計画局がつくる まちづくりの方針

「グランドデザイン・大阪」について

2050年を目標に、変化し、躍動する大阪の今後の方向性を、広く世界に発信するとともに、大都市・大阪の都市空間の姿を分かりやすく示すもの（2012年（平成24年）策定）

【将来像】

多様な価値を創造する大都市・大阪の実現 ～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～

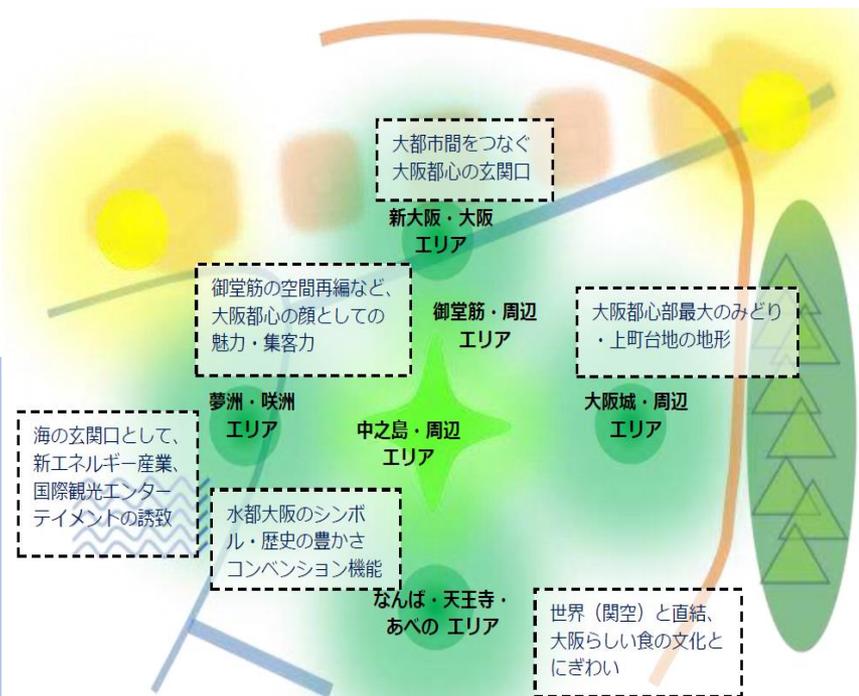
- 強い大都市・大阪 ～国際競争に打ち勝つ～
- 便利で快適な大都市・大阪
- 多様な人材が集積する大都市・大阪
- 都市魅力あふれる大都市・大阪
- 安全・安心な大都市・大阪

【取組みの視点・考え方】

- **仕組みのグレート・リセット**
民間主導／府市バラバラからの脱却／
段階的に実行
- **ハードのグレート・リセット**
みどりを圧倒的に増やす／
水を綺麗によみがえらせる／
街並みを美しく生まれ変わらせる

【取組み内容】

大阪らしいポテンシャルとストックを持つ
象徴的な6エリアのポテンシャルと今後の
取組みを提示



「グランドデザイン・大阪」の主な取組み

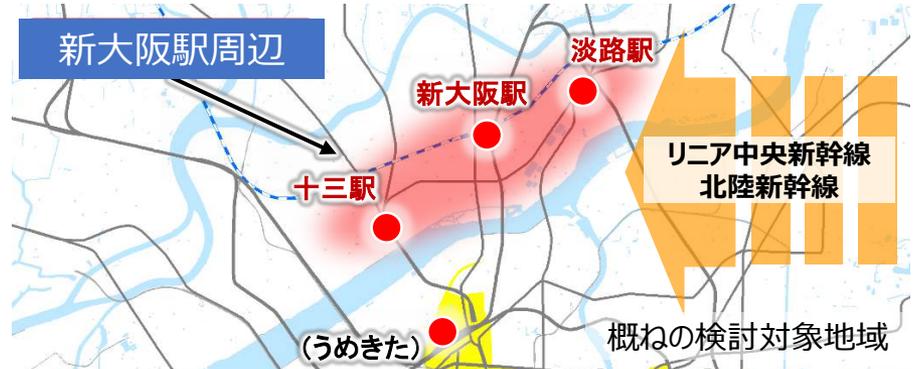
新大阪・大阪エリア

うめきた



うめきた 2 期地区全景イメージ

提供：うめきた2期地区開発事業者



出典：「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針の骨格」より

夢洲・咲洲エリア



2025年大阪・関西万博会場パース
提供：(公社)2025年日本国際博覧会協会

中之島・周辺エリア



未来医療国際拠点イメージ

提供：中之島4丁目用地における未来医療国際
拠点整備・運営事業開発事業者

大阪城・周辺エリア



大阪城東部地区
ゾーニングイメージ

出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」より

なんば・天王寺・あべのエリア



なんば駅周辺道路空間イメージ

出典：「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」より

御堂筋・周辺エリア



側道歩行者空間化イメージ

出典：「御堂筋将来ビジョン」より

「グランドデザイン・大阪都市圏」について

関西全体を視野に、概ね関西大環状道路の範囲内を大阪都市圏として、2050年を目標に「広域連携型都市構造」への転換を行い、民間主導により、人・モノ・情報・投資を呼び込める府域全体の都市空間創造に向けた大きな方向性を示すもの（2016年（平成28年）策定）

【基本目標】

**東西二極の一極を担う大阪都市圏の実現
～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～**

【目標】

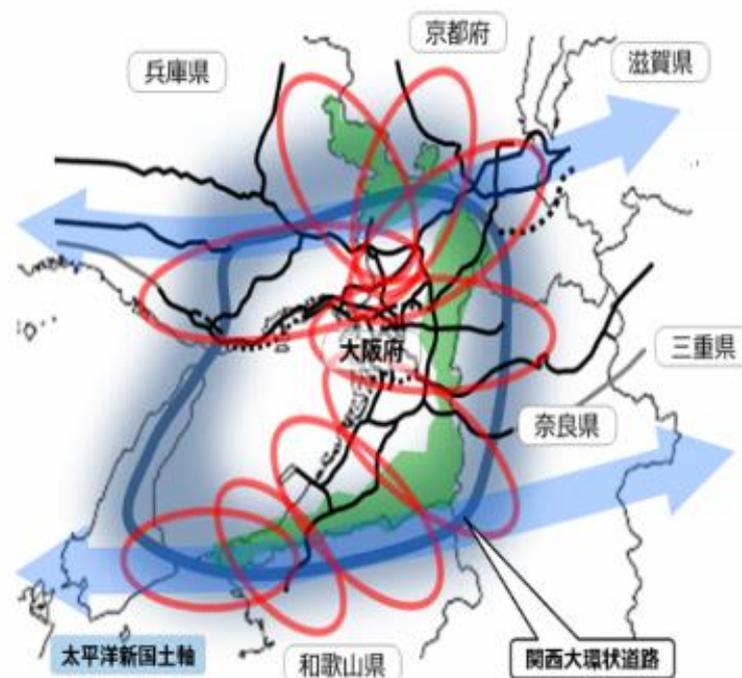
- 都市間競争に打ち勝つ
- 多様な人材が集積する
- 都市魅力あふれる
- 便利で快適
- 安全・安心

【基本的な考え方】

多様な人材の集積 **好循環** 地域価値の創造

【取組み内容】

広域連携型都市構造への転換、産業、自然環境などの地域資源を活かした取組みを提示



「グランドデザイン・大阪都市圏」の主な取組み

淀川沿川 広域連携型まちづくり



淀川を航行する観光船
(淀川河川事務所HPより)

自転車を活用した 広域連携型まちづくり



さくらであい館 走行会

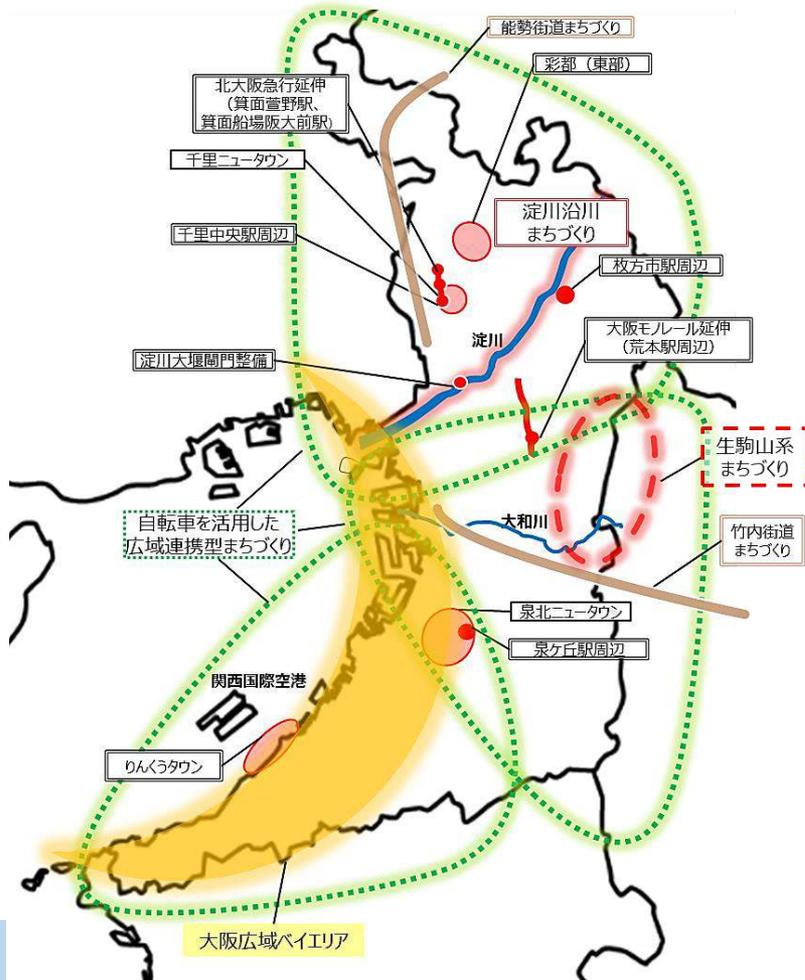
大阪広域バリエリアまちづくり



堺旧港



りんくうタウン
(SENNAN LONG PARK HPより)



彩都 (国際文化公園都市) 東部地区



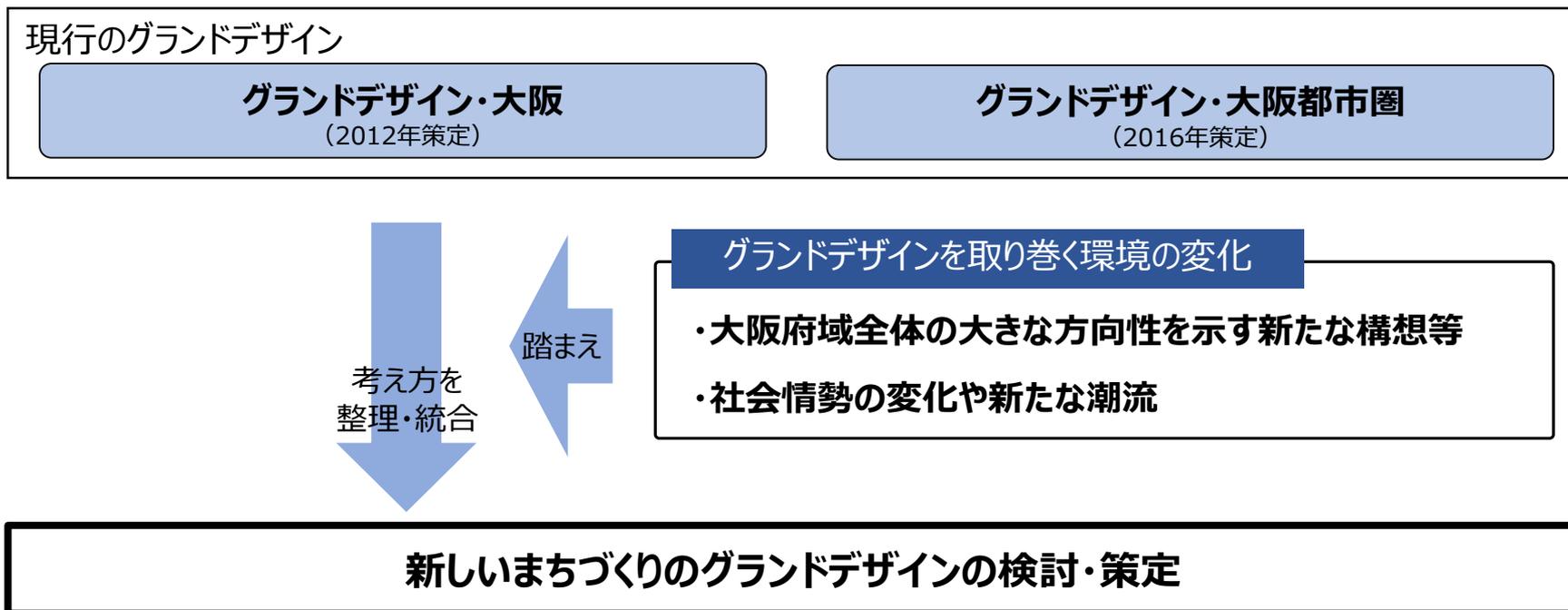
北大阪急行延伸
(箕面船場阪大前駅周辺)
複合施設イメージ



泉北NT (泉ヶ丘駅周辺)
近畿大学医学部・病院イメージ
(近畿大学HPより)

新しいまちづくりのランドデザインの検討

- 大阪・関西万博のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、「ランドデザイン・大阪」と「ランドデザイン・大阪都市圏」の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえるとともに、現在の2つの計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示すものとして策定する。
- ランドデザインは、官民にわたる多様な主体が共有し、民間活力を最大限引き出しながら、各種取組みを一体となって推進するための羅針盤としての役割を担う。



大阪府域全体の大きな方向性を示す新たな構想等

大阪の再生・成長
に向けた新戦略

万博のインパクトを活かした
大阪の将来に向けたビジョン

副首都ビジョン*

大阪スマートシティ戦略*

など

*バージョンアップに向け議論中

社会情勢の変化や新たな潮流

国際拠点形成・インフラ整備の進展

- ・大阪・関西万博の決定、I R 誘致の取組み
- ・国際金融都市に向けた取組み
- ・国家戦略特区の展開
- ・広域インフラ等の整備の進展

世界のダイナミズム

- ・世界経済・人口の中長期的な拡大
- ・都市の国際競争力強化の必要性

観光・インバウンドの動向

- ・世界的な観光需要の高まりと観光形態の変化
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録

暮らしを取り巻く環境変化

- ・ウォークアブルなまちづくりの必要性の高まり
- ・コロナ禍を契機とした新しい生活様式の普及
- ・人口減少の進展、超高齢社会の到来
- ・低未利用地・空き家の増加

産業動向の変化

- ・第4次産業革命による産業形態の変化
- ・製品購入からサービス購入の時代へ
- ・生産拠点等の国内回帰等、サプライチェーンの強化

持続可能な社会に向けた動き

- ・SDGs達成、サーキュラーエコノミーの提唱
- ・カーボンニュートラル、グリーン&ブルーリガバリーの提唱

テクノロジーの進展

- ・スマート・スーパーシティ、都市のDXの実証・実装
- ・モビリティ革命（自動運転・空飛ぶクルマ）
- ・デジタルとリアルとの融合
- ・デジタル田園都市国家構想

安全・安心の確保

- ・自然災害の激甚化・頻発化、切迫
- ・高度成長期以降に整備されたインフラの老朽化

新しいまちづくりのグランドデザイン推進本部会議

【本部長】
大阪府知事

大阪府副知事
大阪都市計画局長
その他関係部局長

【副本部長】
大阪市長

大阪市副市長
大阪都市計画局長
その他関係部局長

【副本部長】
堺市長

堺市副市長
建築都市局長
その他関係部局長

市長会

町村長会

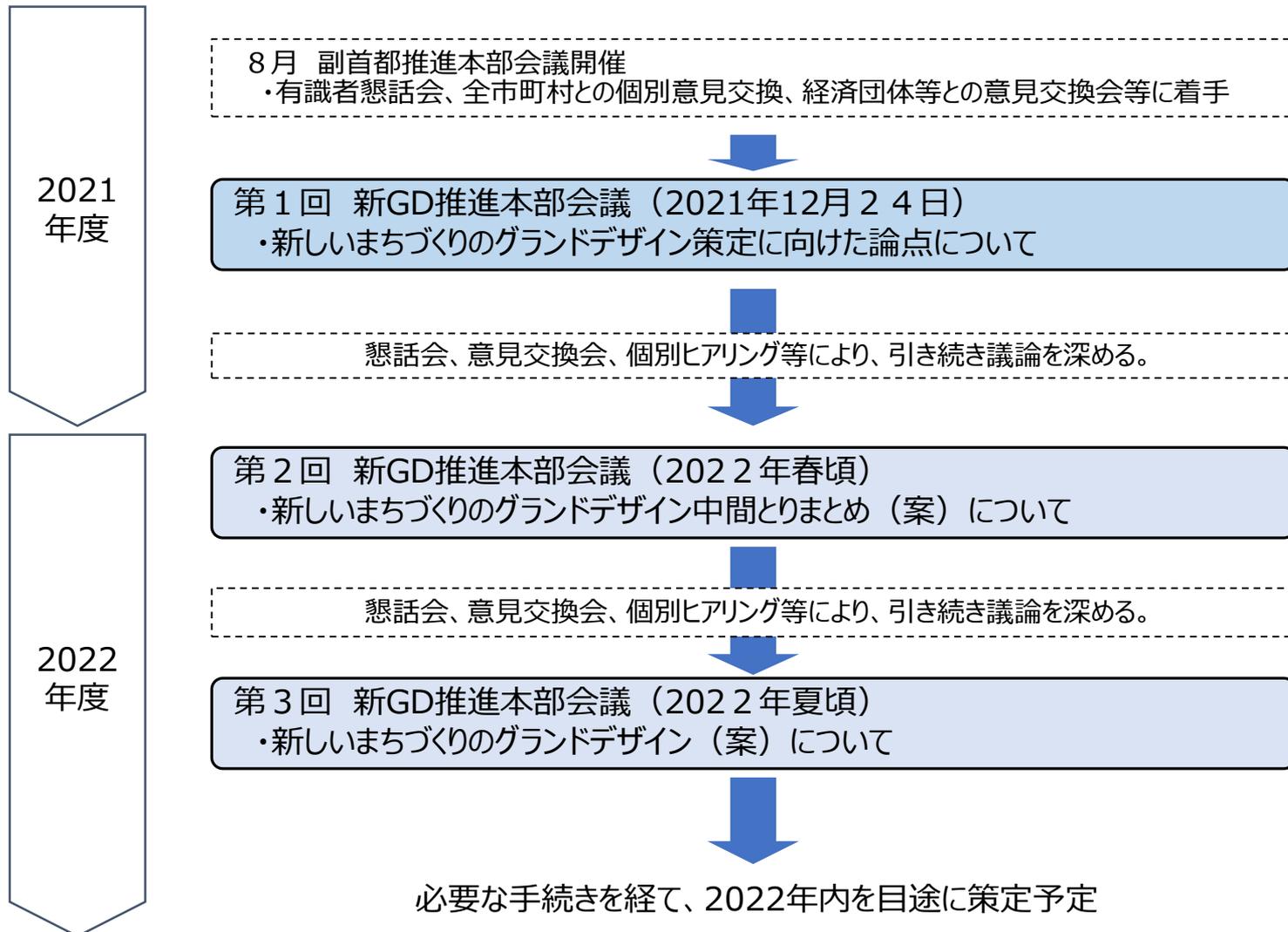
懇話会等を開催し、意見を聴取

学識経験者

民間事業者・経済団体等

市町村

新しいまちづくりのグランドデザインの検討 策定スケジュール



国土から見た大阪都市圏の位置づけ

➤ 大阪都市圏は、世界最大級のスーパー・メガリージョンを構成する西の都市圏であり、西日本国土軸、太平洋国土軸上に位置し、西日本経済の中心、世界のゲートウェイの役割を担う。

【大阪都市圏を取り巻く国土軸等】

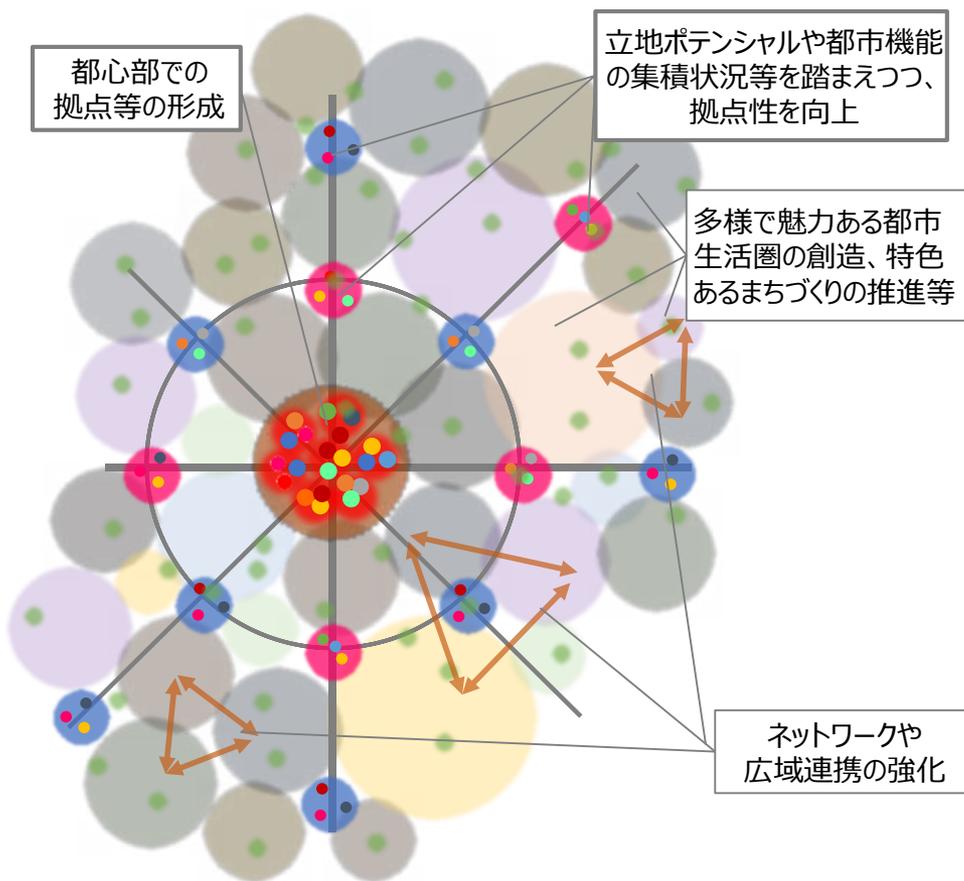


出典：「近畿ブロック 新広域道路交通ビジョン」（R3年7月）広域道路ネットワーク形成の考え方より

論点Ⅰ 府域の都市構造及び拠点形成の方向性

- 都心部とともに、道路・鉄道等の交通ネットワーク上を中心に、多様な都市機能を備えた拠点や、地域の個性・ポテンシャルを活かした特色ある生活圏等が形成され、連携する都市構造を形成する。

【めざすべき都市構造のイメージ】



【拠点形成の方向性】

○大阪の成長・発展をけん引する拠点の形成

➤ 国際的な大都市に相応しい拠点

- ・大阪都心やベイエリアにおいて、国際競争力を強化する拠点を形成

➤ 高次都市機能を備えた府域の中核を担う拠点

- ・業務系をはじめ、多様な都市機能の集積、広域交流を図る拠点を形成

➤ 産業誘導・集積拠点

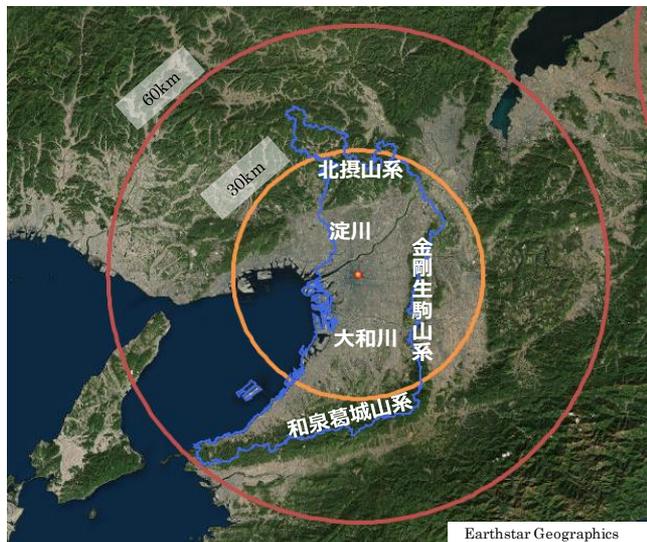
- ・ものづくり産業、イノベーション創出先端産業等の誘導・集積を図る産業拠点を形成

論点2 大都市近郊の立地ポテンシャル等を活かした新しい郊外の姿

1. 大阪の郊外の特徴

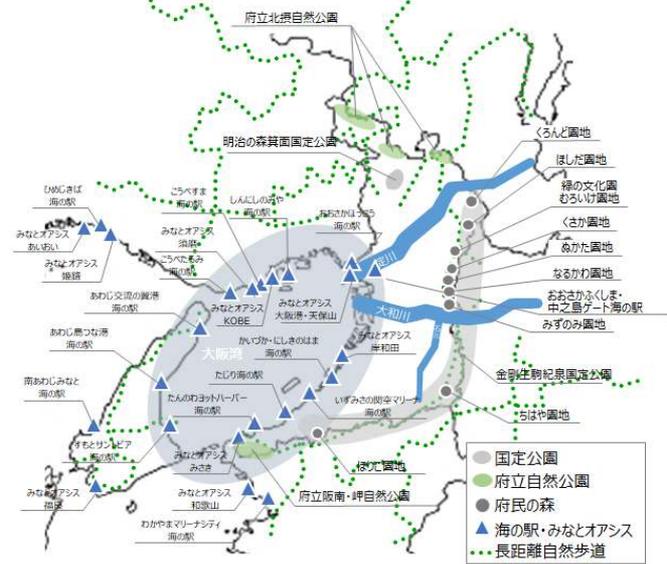
- ・都心部を中心とした放射・環状の交通ネットワークが充実しており、府内の各地域から都心部はもとより、神戸・京都・奈良・和歌山など周辺都市へのアクセス利便性が高い。
- ・都心部等への近接性の一方で、豊かな歴史・文化・景観資源、自然環境等を有する。

【大都市近郊の立地ポテンシャル】



Earthstar Geographics
出典：「ランドデザイン・大阪都市圏」より

【豊かな自然環境等】



出典：「ランドデザイン・大阪都市圏」より一部加工

2. 大都市近郊の立地ポテンシャル等を活かした郊外の姿

- ・地方都市とは異なる、大都市近郊の立地ポテンシャル等を活かした大阪ならではの「新しい郊外」の姿を描く。
- (例)・多様で魅力ある都市生活圏の創造
 - ・大都市の利便性を享受しつつ、豊かな歴史・文化資源、自然環境に触れながら、働き・楽しみ・暮らす (マルチハビテーション、ワーケーション等含む)
 - ・最先端テクノロジーが導入され、便利で快適なニュータウンで、働き・楽しみ・暮らす
 - ・広域連携の取組みによる豊かな自然環境・歴史・文化・景観資源を活かした活性化 など

大阪広域バイエリアまちづくりビジョン（案）

【コンセプト】 CRESCENT-LINK OSAKA-BAY クレセント リンク・おおさかベイ

大阪湾を舞台に、最先端技術、由緒ある歴史・文化と豊かな自然が調和し、世界とつながるヒト・モノ・コトの交流と成長

隣接府県・西日本等との連携
“広げる”

海上交通や自転車等の連携による瀬戸内・淡路島等との回遊性向上
歴史街道等を活用した近隣府県との連携
大阪広域バイエリアが一体となった国内外への情報発信 など

背後地域との連携・ネットワーク化
“つなぐ”

漁港（朝市・マルシェなど）等と内陸部の駅周辺商店街、歴史・文化地区等との連携による相乗効果の創出

地域資源の連携・ネットワーク化
“つなぐ”

海上交通・鉄道・自転車等の連携による回遊性の向上
歴史街道、祭り・イベント、スポーツ施設等の連携による活性化 など

地域資源・既存ストックの利活用
“みかく”

【大阪湾】
産業（漁業振興、大阪産（もん）の活用）の活性化、大阪湾環境再生「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現 など

【臨海部】
地域資源等の個性をみかくとともに、価値を守り、新たな魅力を付加
地域の特性に応じた、新たな資源・魅力を創出 など

人や組織、事業等の育成
“育てる”

社会実験や初動期の支援により事業や活動を育てる
まちづくりの担い手となる人や組織を育てる
観光資源やまちのブランドを高め、府民・市民の海への関心や愛着を育てる など



重点エリアの取組み

大阪～堺地区

【夢洲・咲洲】

- ・IRを核とした新たな国際観光拠点の形成
- ・大阪の成長を支える国際物流拠点の充実

【築港・天保山】

- ・民間活力を導入した天保山旅客ターミナルの整備運営

【堺浜】

- ・世界をリードする産業拠点と海辺を活かした集客・レクリエーション拠点の形成

【堺駅・堺旧港】

- ・広域的なアクセス性や、歴史文化・水辺等の資源を活かした国内外から人が訪れる魅力ある交流拠点の形成

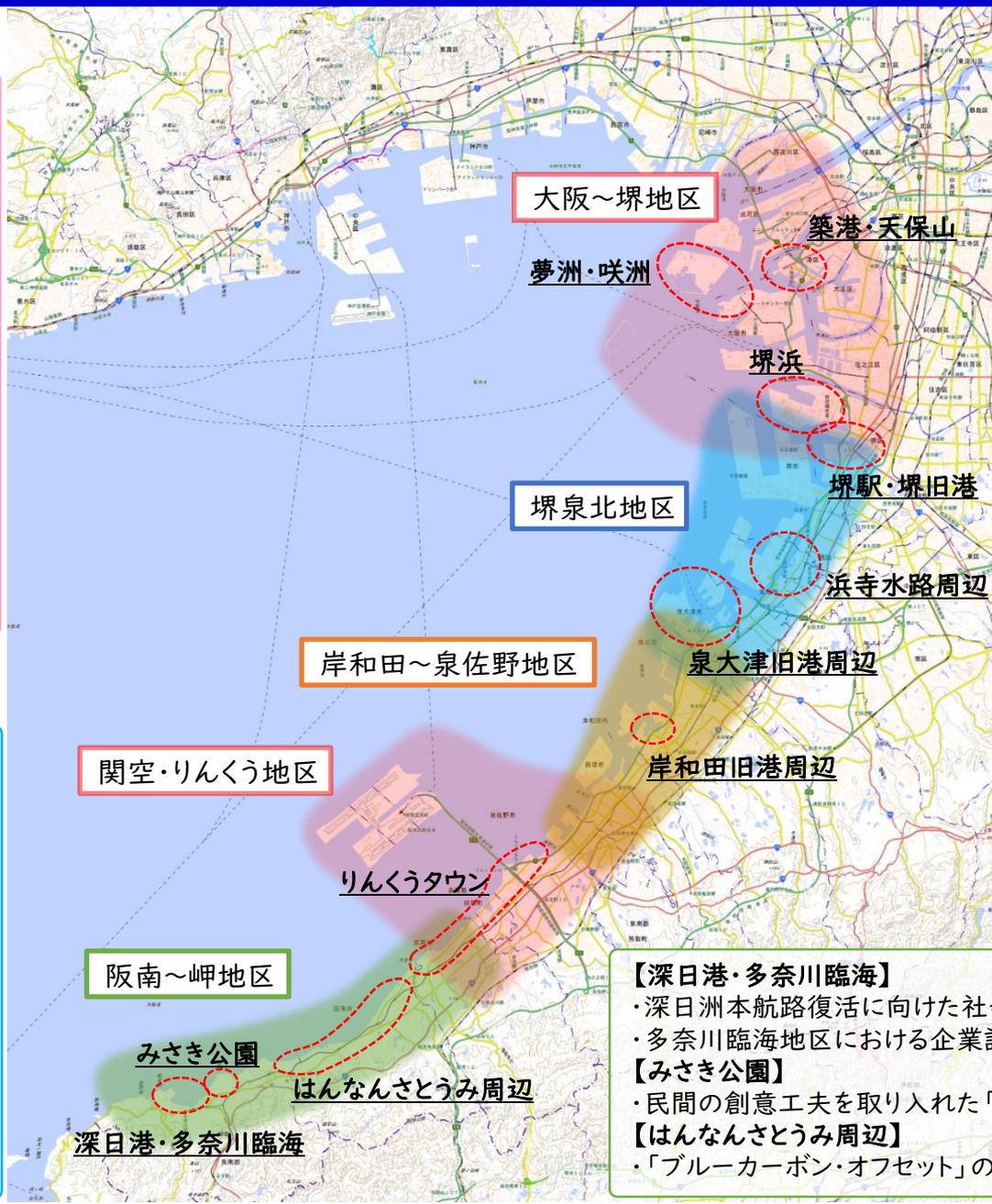
堺泉北地区

【浜寺水辺周辺】

- ・旧市民会館・図書館跡地へのにぎわい・集客施設誘致
- ・ライトアップなど高師浜駅周辺の活性化 など

【泉大津旧港周辺】

- ・高架下イベント空間の創出、先端技術企業の誘致による活性化
- ・アビリティタウン実証都市実現に向けた(仮称)小松公園の整備
- ・音楽フェスイベント等の集客イベントの充実



岸和田～泉佐野地区

【岸和田旧港周辺】

- ・ベイサイドモールの将来的なリニューアルの検討
- ・文化・交流ゾーン(南海浪切ホール等)の新たな価値の創造
- ・鮮魚市場機能を持った、加工施設整備の構築

関空・りんくう地区

【りんくうタウン北区】

- ・アイススケート場、りんくう野外音楽文化堂等を活かした誘客の促進

【田尻町にぎわい交流ゾーン】

- ・たじりっち広場を活用した健康づくりや観光事業の強化
- ・観光漁業化の支援や農業特産品のブランディングなど、産業の活性化

【泉南りんくう公園周辺】

- ・公園を活用した花火や音楽フェスを開催し、様々な人が集い、交流する「場」を提供

阪南～岬地区

【深日港・多奈川臨海】

- ・深日洲本航路復活に向けた社会実験運航
- ・多奈川臨海地区における企業誘致

【みさき公園】

- ・民間の創意工夫を取り入れた「新たなみさき公園」づくりを推進

【はんなんさとうみ周辺】

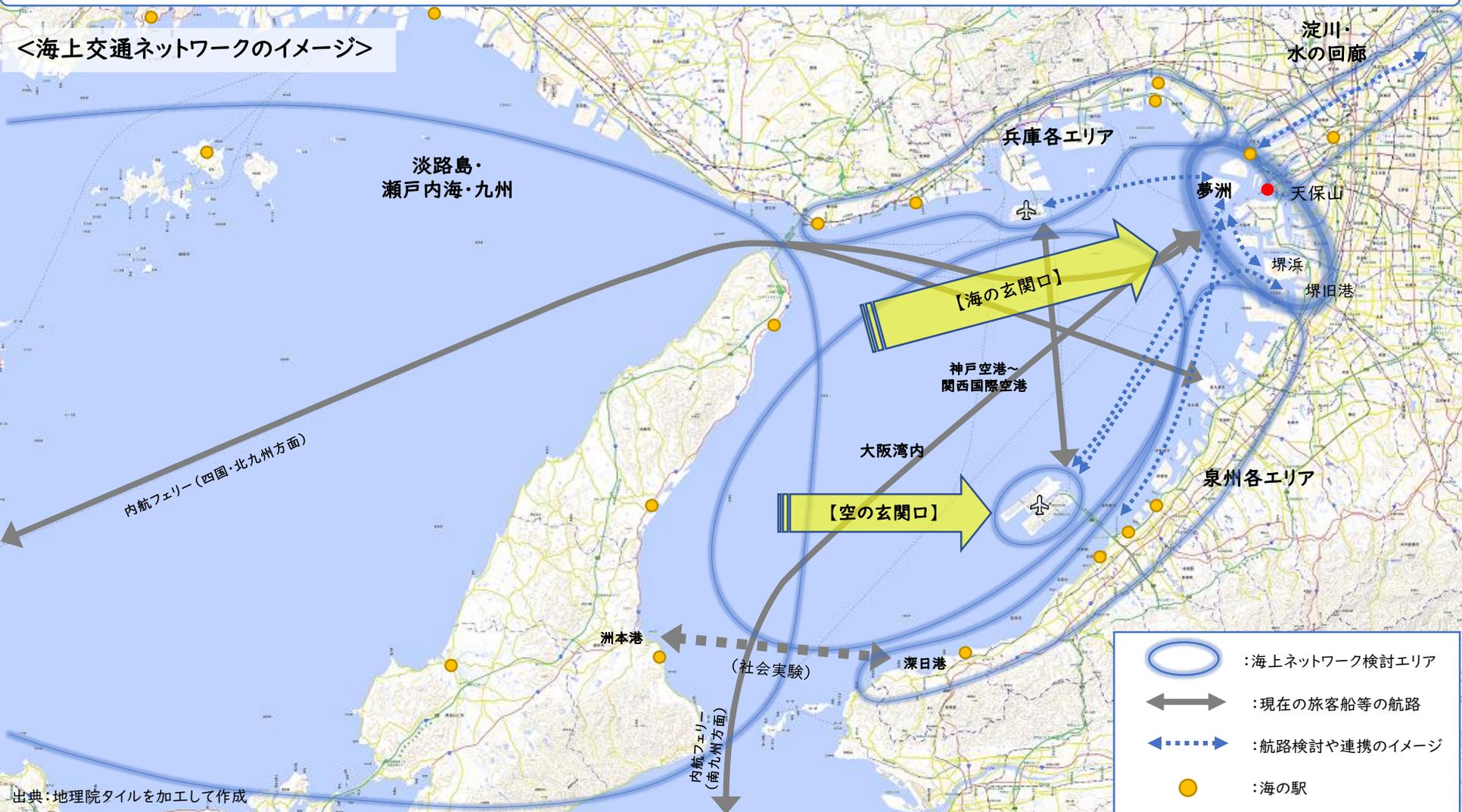
- ・「ブルーカーボン・オフセット」の推進による海辺環境の保全

"つなぐ"、"広げる"取り組み

海上交通による交流機能の充実

- ・大阪湾内の拠点を結ぶネットワークの充実
- ・海の駅などの活用、周遊クルーズの充実
- ・大阪湾と瀬戸内・西日本等を結ぶネットワーク、水都大阪（水の回廊）や淀川舟運と連携したネットワークなどの充実

<海上交通ネットワークのイメージ>



"つなぐ"、"広げる"取り組み

広域サイクル連携の推進

- 各サイクルルートをつなぐ広域サイクルネットワークを形成し、新たな人の動きを創出
- 安全に通行できるサイクルルートの設定やシェアサイクルの効果的な活用により、アクセス性を向上

<広域サイクル連携のイメージ>



【4】 大阪都市計画局が取り組む 4つの広域拠点

【うめきた】 【新大阪駅前】 【大阪城東部】 【夢洲・咲州】

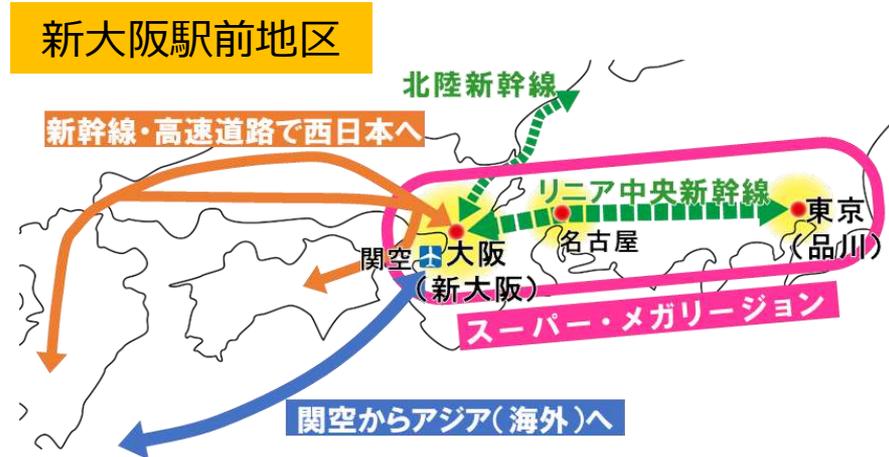
大阪都市計画局が取り組む4つの広域拠点

大阪全体の発展を支えるまちづくりについて、これまでも府市一体の取り組みで進めてきた4つの拠点を「広域拠点開発」として位置づけ、計画策定から事業推進までの一連の過程を、大阪都市計画局がより迅速・強力かつ効果的に実施。



うめきた地区

提供：うめきた2期地区開発事業者



出典：「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針の骨格」より



大阪城東部地区
ゾーニングイメージ

出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」より

夢洲・咲洲地区



● うめきた2期区域のまちづくりの目標

「みどり」と「イノベーション」
の融合拠点

世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

- ・ まち全体を包み込む「みどり」が、ここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつける。

新たな国際競争力を獲得し、
世界をリードする「イノベーション」の拠点

- ・ 世界から人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の拠点。

● 新産業創出のテーマ

ライフデザイン・イノベーション

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出



- 開発事業者 **三菱地所株式会社** を代表者とするグループ
- まちづくりのコンセプト：**希望の杜** Osaka “MIDORI”LIFE 2070の創造



2020年12月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性があります。（提供：うめきた2期地区開発事業者）

【うめきた地区】 うめきた2期 ～開発事業者の提案概要(土地利用計画)～

北街区

(面積1.6ha)

中核機能と宿泊機能を配置し、先行開発区域と連携する
新産業創出と産学官民の交流ゾーン

施設：
ホテル、イノベーション施設、プラットフォーム施設、
商業施設、分譲住宅



都市公園

(面積4.5ha)

[北部分]市寄附金整備区域を含む緑豊かな憩いのゾーン
[南部分]広場を中心に多くの人が集い多彩な活動ある賑わいゾーン
[賑わい軸(東西軸)]

公園と連続する広場空間として
南北を一体化

施設：
飲食店、ミュージアム、体験学習施設、
管理事務所、備蓄倉庫、屋根付広場

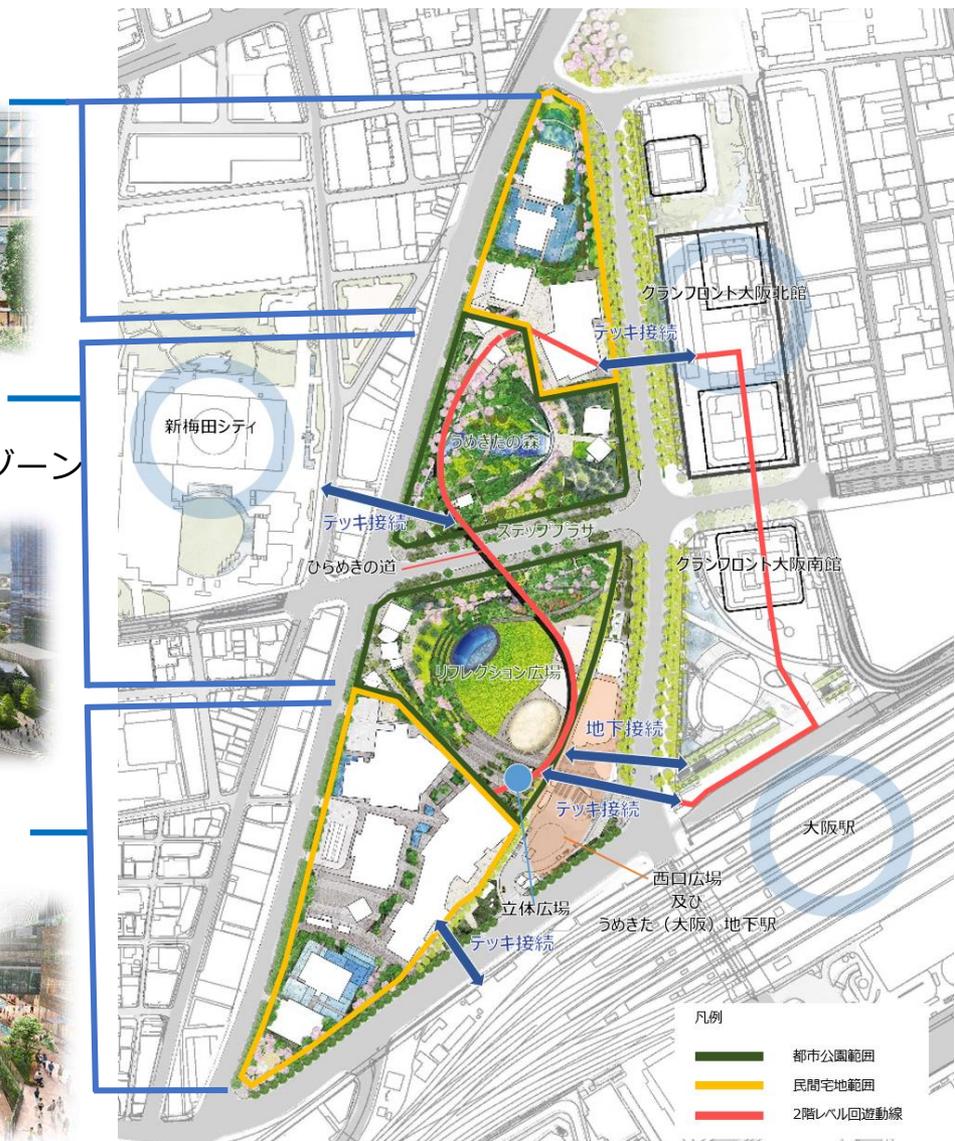


南街区

(面積3.0ha)

国際集客・交流に資する業務・商業・
宿泊・MICE施設を配置し、世界からの
ビジネス・観光を促す高度複合都市機能
集積ゾーン

施設：
ホテル、商業施設、都市型SPA、
MICE施設、分譲住宅



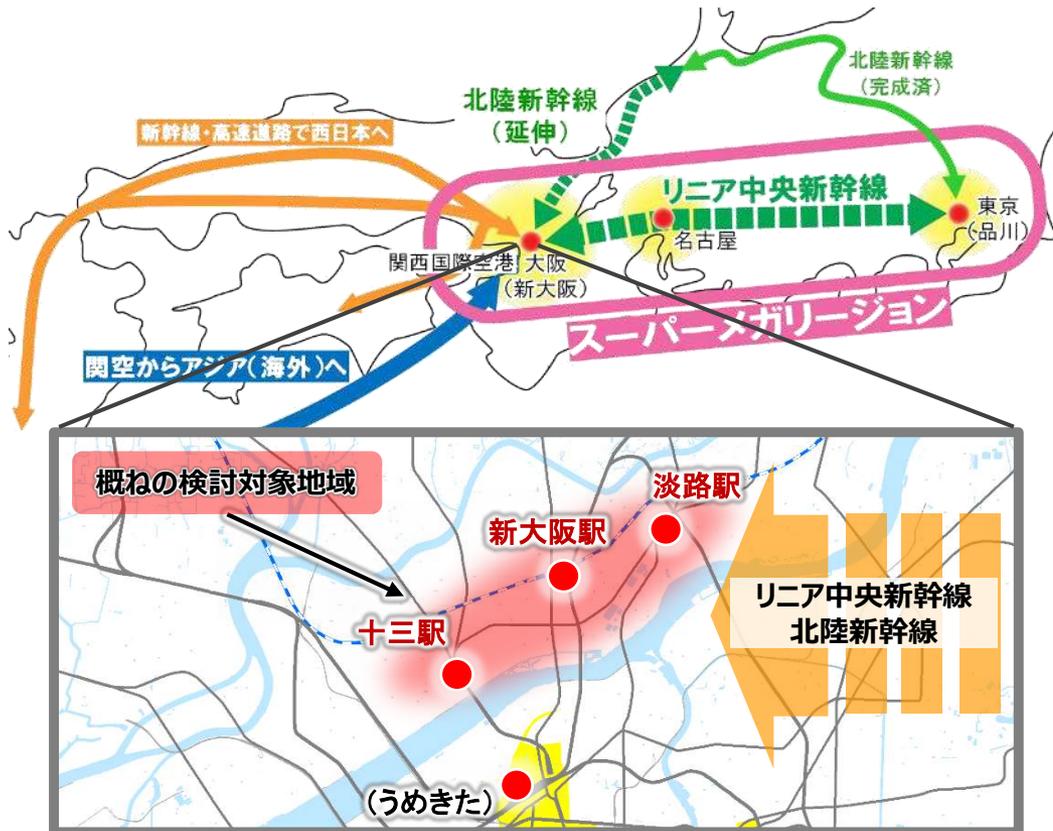
2020年12月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性があります。
(提供：うめきた2期地区開発事業者)

【新大阪駅前地区】新大阪駅周辺地域のまちづくり検討

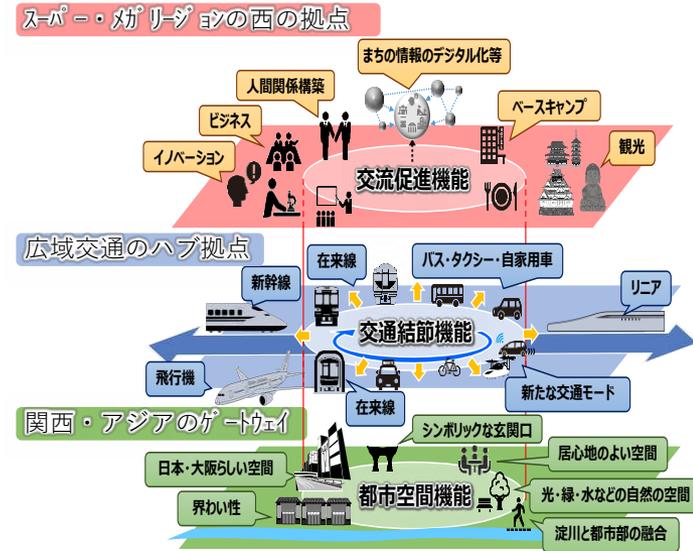
検討の経過

- 2018(H30)年8月 国による都市再生緊急整備地域候補地域の位置づけ
- 2019(H31)年1月 都市再生緊急整備地域検討協議会において検討開始
- 2020(R2)年3月 新大阪駅周辺地域 まちづくり方針の骨格 策定

新大阪をとりまく環境と検討対象地域



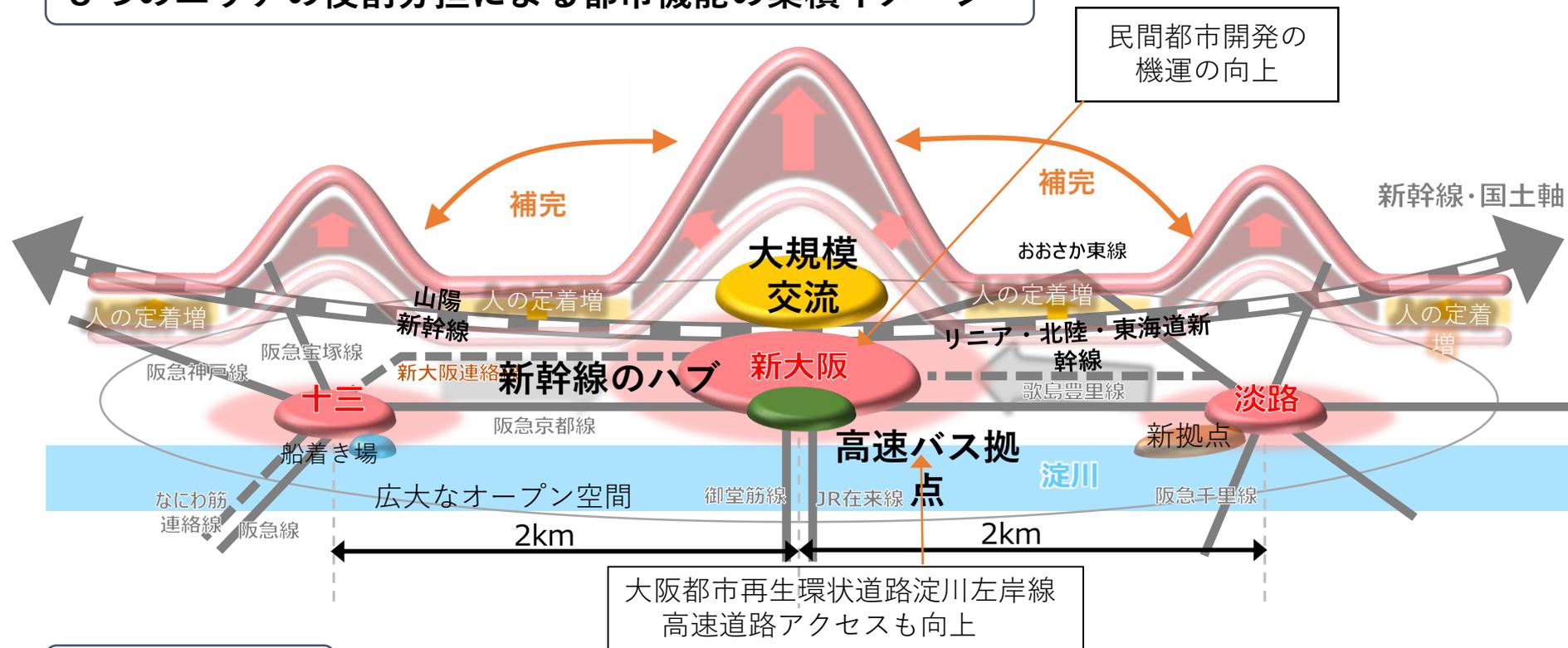
担うべき役割と導入すべき都市機能



まちづくり方針の骨格(R2.3)より

【新大阪駅前地区】新大阪駅周辺地域のまちづくり検討

3つのエリアの役割分担による都市機能の集積イメージ



現在の取組状況

- 2021(R3)年8月 第5回都市再生緊急整備地域検討協議会において
- ・新大阪駅エリアにて、民間都市開発の機運が高まってきている
 - ・一旦これまでの検討内容を盛り込んだ「まちづくり方針」をとりまとめていくをそれぞれ確認

「まちづくり方針」を作成し、早期の都市再生緊急整備地域の指定につなげていく

【大阪城東部地区(森之宮北地区)】



【大阪城東部地区(森之宮北地区)】 ~コンセプト~

コンセプト

大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ

新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち

コンセプトを具体化する戦略

1. まちにひらかれ、まちとともに成長する 「次世代型キャンパスシティ」

- ・都心立地を活かし、住民開放・産学官民連携・国際交流などの機能を有する新大学を核としたまち
- ・新大学が先導役となり、まちの成長を牽引し、まちの課題を解決しながら発展するまち

2. 健康医療・環境等の既存資源を活かした 「スマートシティの実証・実装フィールド」

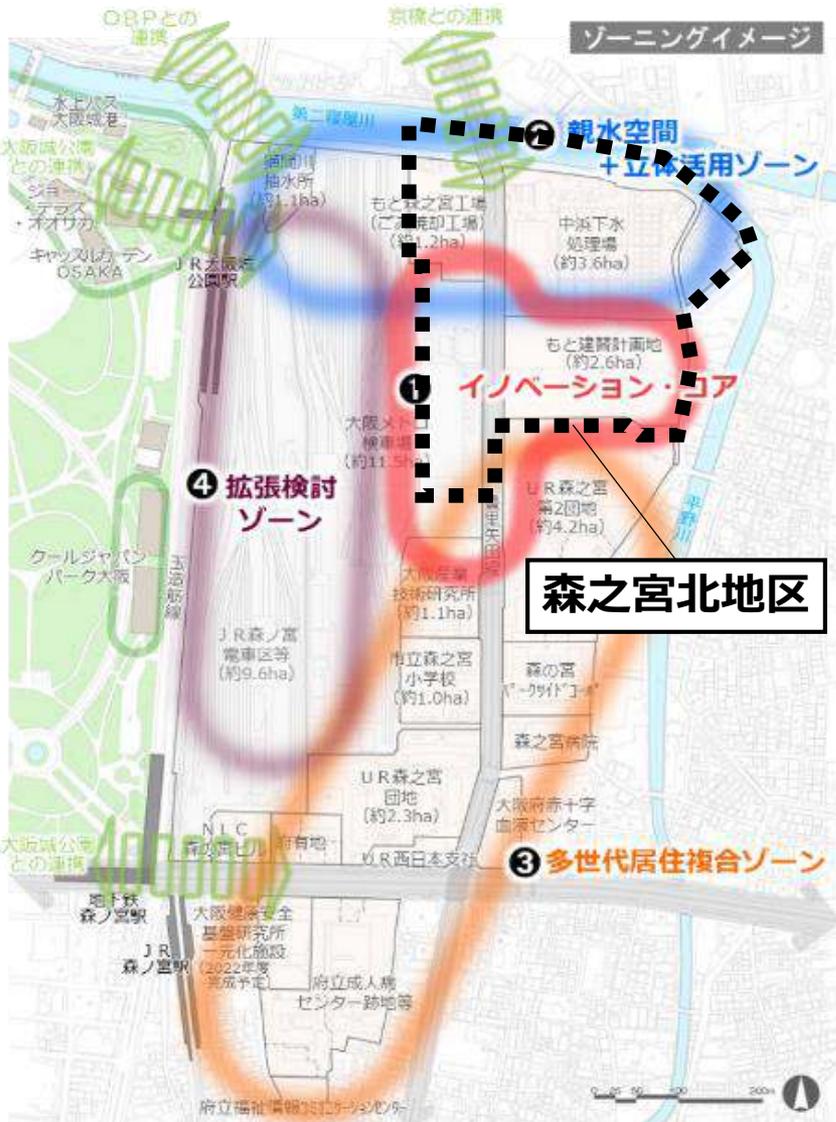
- ・豊富な水・緑、供給処理施設を活かしたスマートエネルギーの実証・実装や、基盤整備を伴う大規模なまちづくりを活かしたスマートモビリティの実証・実装フィールド
- ・大学と、健康医療機関、UR、企業等が連携し「健康寿命の延伸」「QOLの向上」「住み続けられる住環境の形成」に先導的に取り組むまち

3. 多様なひと、機能、空間、主体が交流する 「クロスオーバーシティ」

- ・多様な世代、国籍、目的の人々(学生、住民、就業者、観光客)が集い交流するまち
- ・職住遊学などの多様な機能が重層的に集積し、互いに相乗効果をもたらすまち
- ・大阪城公園の緑や水辺空間と一体的に、公共的空間と民間空間が調和した、デザイン性のあるまち
- ・産学官民の多様な主体が連携し、エリアマネジメントを展開するまち



【大阪城東部地区(森之宮北地区)】 ~都市計画決定までの経過~



- 2019年8月 「新大学基本構想（公立大学法人大阪）」
・方針：新大学（大阪府立大学・大阪市立大学 統合）の
都心メインキャンパス（森之宮）を整備
- 2019年12月～2020年3月
「大阪城東部地区まちづくり検討会」開催

- 2020年9月 「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」策定

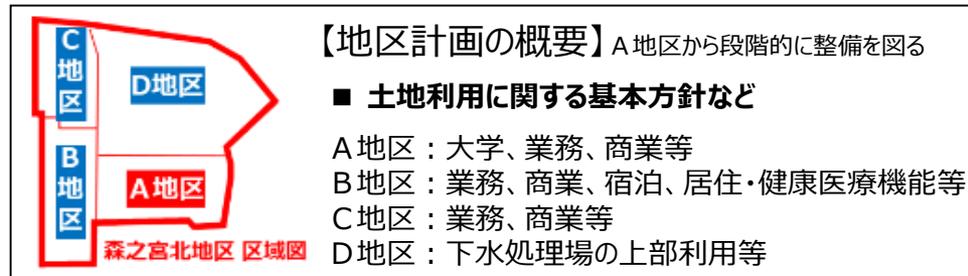
＜まちづくりコンセプト＞

大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ

・新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち

- 2020年9月 都市再生緊急整備地域（森之宮周辺）指定

- 2021年9月 **森之宮北地区地区計画（再開発等促進区）** 決定
・土地利用転換や機能更新とあわせた土地の高度利用



- 2025年4月 大阪公立大学 森之宮キャンパス(1期) 開所予定

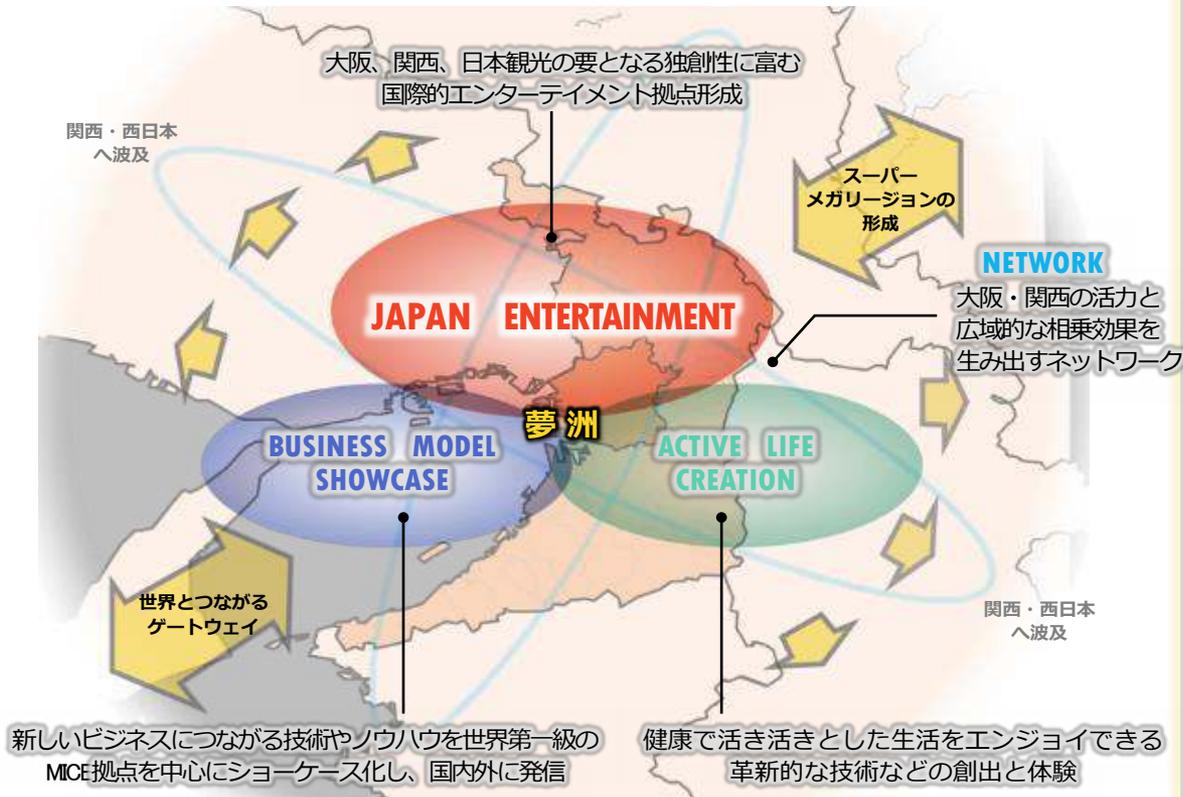
- 2025年以降（できるだけ速やかに）1.5期のまちづくりを推進

出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を一部追記

【コンセプト】

SMART RESORT CITY 夢と創造に出会える未来都市

【拠点形成のための都市機能】



【まちづくりの方針】

土地利用

- ▶世界で存在感を発揮するまちづくり

都市基盤

- ▶確かな技術に支えられたスマートなまちづくり

環境共生

- ▶地球・自然環境共生とスマート技術の融合による先進的で快適な環境形成

空間デザイン

- ▶アーティスティックなデザイン、上質で快適な空間形成

【支えるしくみ】

安全・安心

- ▶24時間ホスピタリティと安心感に包まれるまちづくり

運営・育成

- ▶民が主役のまちづくり

【夢洲・咲洲地区】～夢洲まちづくり基本方針（2019年12月策定）～

【土地利用の方針】

【第1期(70ha)】

統合型リゾート（IR）を中心としたまちづくり

魅力的なエンターテインメントの集積、国際競争力を有するMICE施設の整備やICT等最先端技術を活用したスマートなまちづくりによる国際観光拠点を形成する。

《導入施設》 ■ 国際会議場および展示施設 ■ 魅力増進施設
■ 送客施設 ■ 宿泊施設 等

【第2期(60ha)】

万博の理念を継承したまちづくり

大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能や万博の理念、最先端の取り組み及び第1期において創出されたにぎわいを継承したまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る。

《導入機能例》 ■ 大規模エンタメ・レクリエーション機能 ■ 宿泊機能
■ 最先端技術・研究などの実験・実証情報発信機能 等

【第3期(40ha)】

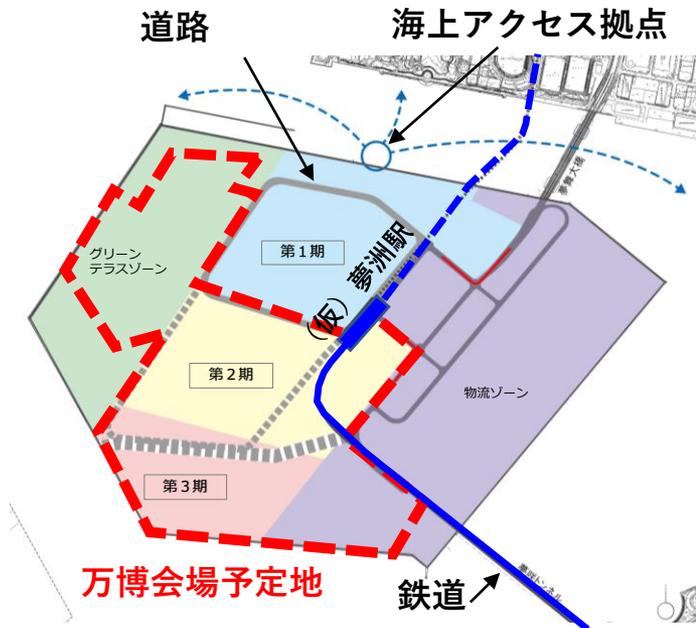
第1・2期の取り組みを活かした長期滞在型のまちづくり

第1、2期で創出・醸成されたエンターテインメントや最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なリゾート空間を形成する。

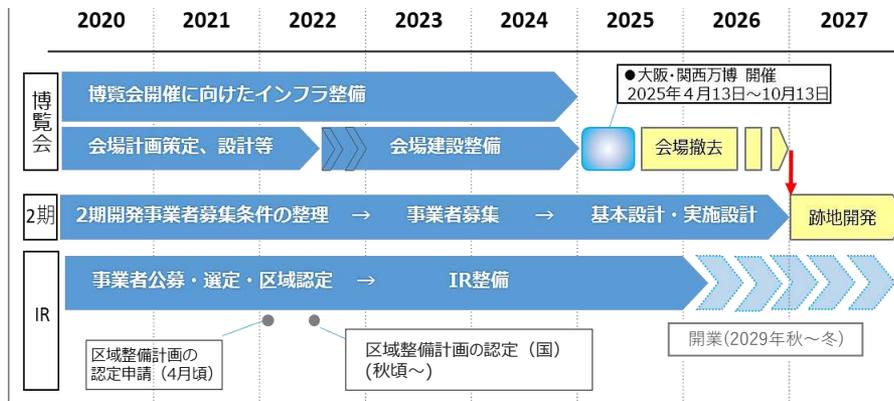
《導入機能例》

■ 第1期及び第2期に導入される機能（エンターテインメント、産業・ビジネスなど）の拡充
■ 長期滞在型リゾート機能 ■ ウェルネスツーリズム 等

【インフラ等の整備計画】



【想定スケジュール（年度）】



【夢洲・咲洲地区】 2025年日本国際博覧会 ～概要～

【開催概要】

- テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」
- サブテーマ **Saving Lives** (いのちを救う) **Empowering Lives** (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)
- 開催期間：2025年4月13日～10月13日（184日間）
- 入場者数：約2,800万人（想定）
- 開催場所：夢洲（大阪市此花区）
- アクセス：地下鉄中央線の延伸計画、主要駅からのシャトルバスの運行 等



【経費等】

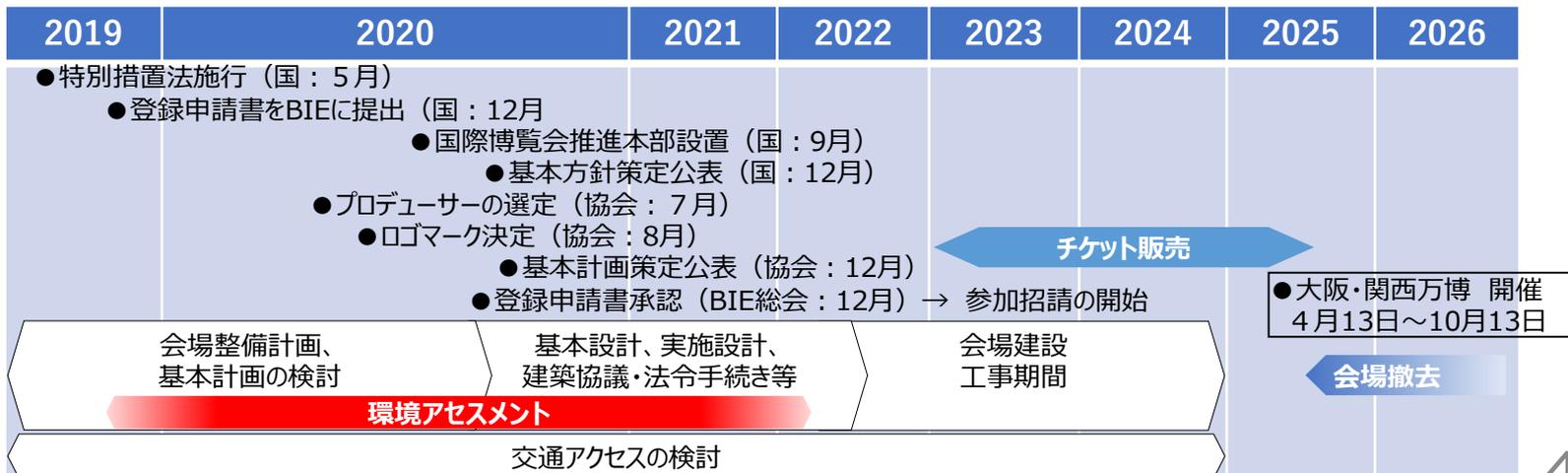
事業費（想定）		負担
会場建設費	約1,850億円	国・自治体・経済界
運営費	約820億円	入場料収入等

【博覧会の実績等】

出所：2025年日本国際博覧会協会

登録博覧会	国内実績
〈過去の博覧会〉 上海万博（2010年 中国） ミラノ万博（2015年 イタリア）	日本万国博覧会（1970年 大阪府） 沖縄国際海洋博覧会（1975年 沖縄県） 国際科学技術博覧会（1985年 茨城県）
〈開催中〉 ドバイ万博（2021年 アラブ首長国連邦）	国際花と緑の博覧会（1990年 大阪府） 2005年日本国際博覧会（2005年 愛知県）

【スケジュール】



大阪・夢洲地区

■ 設置運営事業予定者

MGM・オリックス コンソーシアム

■ 大阪IRのコンセプト

◆ビジョン：“WOW” Next

◆コンセプト：“結びの水都”

■ 経済的社会的効果

初期投資額	約1兆800億円 (税抜き)
年間来場者数	約2,000万人/年 国内：約1,400万人/年 (約70%) 国外：約600万人/年 (約30%)
年間売上	約5,200億円
雇用者数	約1.5万人
納付金・入場料 (府・市合計)	約1,060億円/年

■ 施設概要

施設種別	延床面積	施設構成・規模
国際会議場施設	約3.7万㎡	最大会議室 6,000人超収容
展示等施設	約3.1万㎡	展示面積 2万㎡ 関西イノベーション・ラボ
魅力増進施設	約1.1万㎡	ガーデンシアター 関西ジャパンハウス 三道体験スタジオ ジャパン・フードパビリオン 関西アート&カルチャーミュージアム
送客施設	約1.3万㎡	関西ツーリズムセンター バスターミナル、フェリーターミナル
宿泊施設	約28.9万㎡	客室 約2,500室 レストラン、プール、フィットネス 大浴場、バンケット 等
エンターテインメント施設	約1.3万㎡	夢洲シアター-3,500席
飲食・物販・サービス等施設	約31.0万㎡	飲食施設、物販施設 駐車場、エネルギーセンター 等
カジノ施設	約6.5万㎡	※カジノ行為区画は総延床面積の 3%以内
総延床面積	約77万㎡	

今後の予定

区域整備計画

パブリックコメントの実施	2021年12月23日~2022年1月22日
公聴会の開催	2022年1月23・24・28・29日
説明会の開催	2022年1月7日~2月14日 計11回
国の認定	2022年秋頃~

IR事業の工程 (想定)

工事の発注及び着手	2023年春~夏頃
IR施設の開業	2029年秋~冬頃※

※工程が最も早く進捗した場合の想定

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的サービスを展開
～2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体のブラウンフィールドへ拡張～

『データで広げる“健康といのち”』がテーマ

2023年～

【夢洲コンストラクション】

- ① 建設工事現場内外の移動、
- ② 建設工事及び資材運搬、
- ③ 建設作業員の安全・**健康管理**の3つの円滑化を推進



2024年～

【うめきた2期】

(中核機能のテーマ)

ライフデザイン・イノベーション



超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出

2025年

【大阪・関西万博】

(テーマ) **いのち輝く未来社会のデザイン**

(サブテーマ) 『Saving Lives (いのちを救う)』
『Empowering Lives (いのちに力を与える)』
『Connecting Lives (いのちをつなぐ)』



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド
(夢洲、うめきた2期)

スーパーシティと万博レガシーを展開

大阪全体・
全国への波及

めざすは住民QoLの向上
「健康寿命の延伸」へ

輝く未来社会

スーパーシティと
万博レガシーを
880万府民につなぐ

大阪のスーパーシティがめざす未来ビジョン ～SDGsの達成と万博レガシーの継承～

目的

住民QoL*の向上

SDGsの達成
万博レガシーの継承

都市競争力の強化

大阪SDGs
行動憲章

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします

ビジョン

豊かに暮らす
健康長寿社会
【ヘルスケア】

活力にあふれる
データ駆動型社会
【ビジネス・イノベーション】

ストレスフリーな
最適移動社会
【モビリティ】

大阪広域データ連携基盤
【ORDEN】

先端サービスと規制改革

先端国際医療

国際医療・遠隔医療
ヘルスケアアプリ

- 国際医療
 - ・ 英語による医師・看護師試験
- 遠隔医療・遠隔服薬指導
 - ・ 海外の医師による遠隔診療等
- ヘルスケアアプリの運用
 - ・ 医療行為に該当しない範囲のガイドライン化

未来健康サービス

AI健康プログラム
次世代PHR

- AI健康プログラム
 - ・ 都市湯治に関する医療費控除適用要件の緩和

次世代モビリティ【陸】

自動運転車・貨客混載
ライドシェア

- シャトルバス（レベル2）
 - ・ 大型自動車第二種免許緩和
- 自動運転車
 - ・ レベル4に対応した法整備
- 貨客混載・ライドシェア
 - ・ 都市部での貨客混載の実現

次世代モビリティ【空】

空飛ぶクルマ

- 空飛ぶクルマ
 - ・ 離着陸場、技能証明、機体の安全性の基準整備
 - ・ 空域・運航に係る法整備

* QoL・・・ Quality of Life 「生活の質」

2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現

大阪・関西万博を機に、ブラウンフィールドはアジャイルに進化する



【凡例】 夢洲 : 夢洲
万博 : 万博会場
きうため : うめきた2期
レガシー : 万博レガシー

【5】大阪都市計画局が担う 都市計画のワンストップ窓口

《これまでの府の都市計画事務》

【都市計画、国土利用計画】

- 都市計画法に基づく都道府県が実施する都市計画、事業認可業務
〈線引き等、市町村の区域を超える影響を持つ広域的・根幹的な都市計画 等〉
- 国土利用計画法に基づく府土地利用基本計画に係る業務



《一元化条例による広域的な都市計画決定事務の大阪市からの受託》

広域的で成長の重要な基盤となる都市計画の決定に関する大阪市の事務を府に一元化。

〈移行事務〉

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（区域マスタープラン）、区域区分
都市再生特別地区、臨港地区、都市施設（高速道路・国道、鉄道）、一団地の官公庁施設

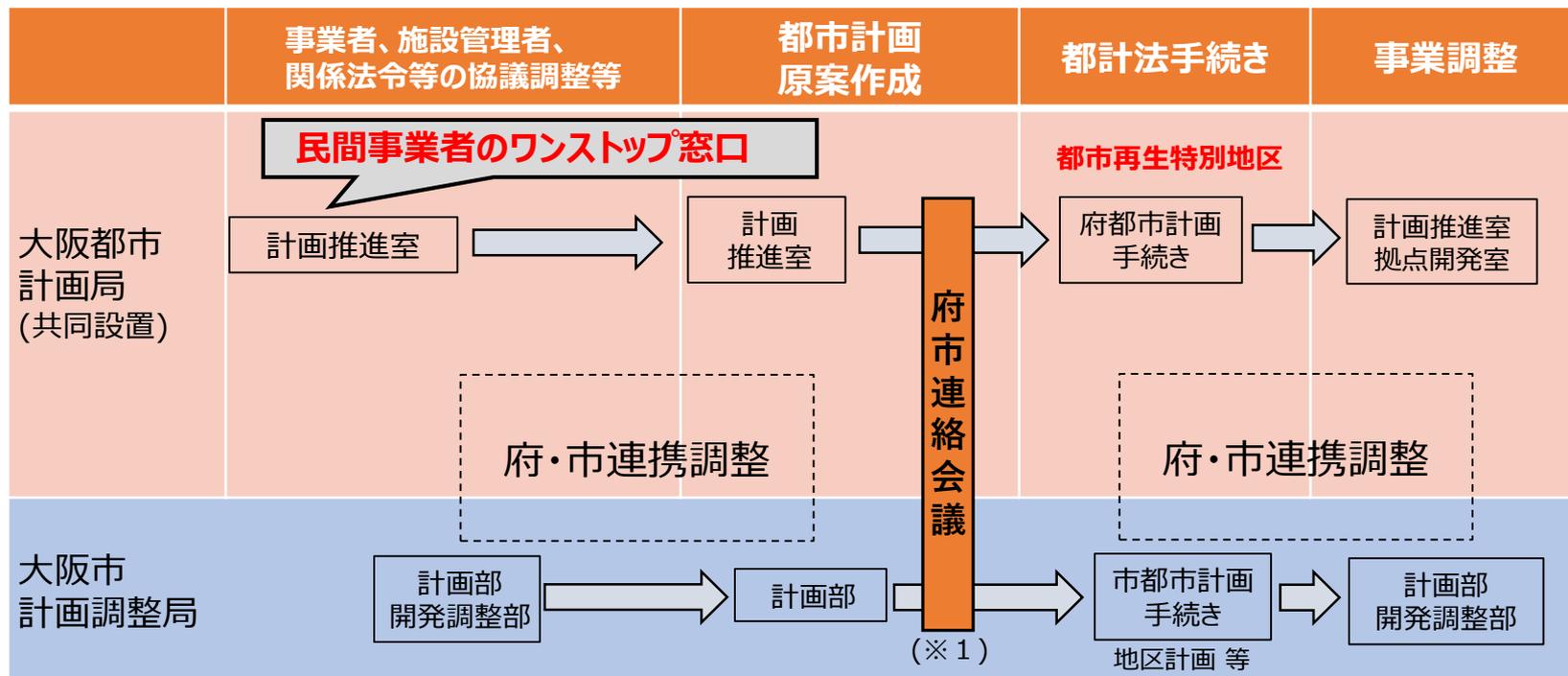
都市再生特別地区等の活用イメージ

■ワンストップ窓口の設置

民間事業者の負担軽減・利便性向上のため、『ワンストップ窓口』を設置
(大阪都市計画局計画推進室)

■大阪市との連携

『府市連絡会議』を設置し、大阪府・大阪市の一体的なまちづくりを推進



(※1) 府市連絡会議は、府、市の都市計画部局で構成し、適宜開催して、都市計画手続きが円滑に進むよう情報共有と調整を行う。

大阪市内の都市再生特別地区（2022年1月現在 22地区指定）

【大阪駅周辺地域】 ※  は計画及び開発中のプロジェクトを示す



③梅田二丁目地区 (フリーセタワー) ④角田町地区 (梅田阪急ビル) ⑤大阪駅地区 (大阪ステーションシティ) ⑧小松原町地区 (大阪富国生命ビル) ⑩大阪駅北地区 (グランフロント大阪)



⑫大阪駅西地区 (梅田3丁目計画) ⑮大深町地区 (ヨドバシ梅田タワー) ⑯梅田一丁目地区 (大阪梅田ツインタワース・サウス) ⑳うめきた2期中央地区 ㉑堂島浜一丁目地区

【中之島地域】



⑪中之島四つ橋筋地区 (中之島フエスタバルタワー)

【御堂筋周辺地域】



①心斎橋筋一丁目地区 ②淀屋橋地区 (淀屋橋odona) ⑥西本町一丁目地区 (オリックス本町ビル) ⑦本町三丁目南地区 (本町ガーデンシティ)



⑭今橋三丁目地区 (日本生命本店東館) ⑯伏見町三丁目地区 (三菱UFJ銀行大阪ビル) ⑰淀屋橋駅西地区 (右) ⑱淀屋橋駅東地区 (左)

凡例

-  都市再生緊急整備地域
-  特定都市再生緊急整備地域
- ①～㉒ 都市再生特別地区

大阪コスモスクエア駅周辺地域




大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域

大阪城公園周辺地域

大阪京橋駅・大阪ビジネスパーク駅周辺地域

【天満橋駅周辺地域】



⑳大手前一丁目地区

天満橋駅周辺地域

森之宮周辺地域

阿倍野地域



⑨阿倍野筋一丁目地区 (あべのハルカス)

【難波地域】



⑬難波五丁目地区 (なんばスカイオ)

阿倍野地域

最近の特区の活用事例 「淀屋橋駅西地区・東地区」(2019年8月決定)

国際水準の高規格なオフィス機能や上質なにぎわい機能の導入による風格あるビジネス拠点を形成するとともに、大街区化等による歩行者空間の回遊性の向上等を図ることにより、当地区の国際競争力の強化を図る。

概要



主要用途：業務、商業
 敷地面積：約7,200㎡
 階数：地上28階、地下2階
 建物高さ：約135m
 延床面積：約131,800㎡



主要用途：業務、商業
 敷地面積：約3,900㎡
 階数：地上28階、地下3階
 建物高さ：約150m
 延床面積：約73,600㎡



主な公共貢献項目

淀屋橋駅西地区

- 国際水準の高規格オフィス機能の導入
- 上質なにぎわい機能の導入
- ゆとりのある快適な歩行者空間の創出
- 水辺の新たなにぎわい拠点の創出
- エネルギーの面的利用

淀屋橋駅東地区

- 国際水準の高規格オフィス機能の導入
- ビジネスサポート機能の導入
- 上質なにぎわい機能の導入
- 地下接続部における快適な歩行者空間の確保
- エネルギーの面的利用

最近の特区の活用事例 「堂島浜一丁目地区」 (2020年4月決定)

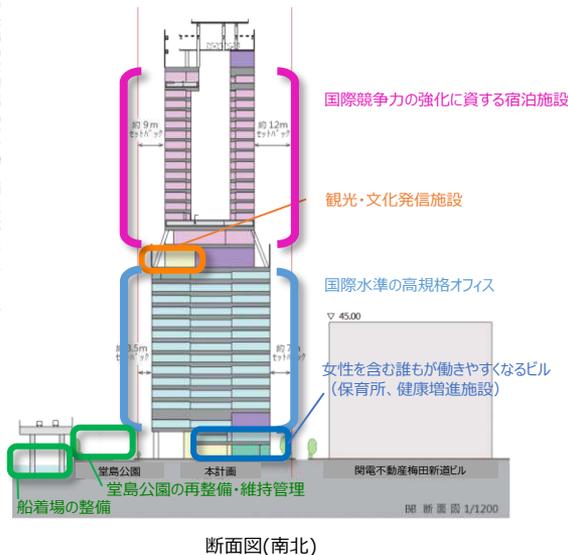
堂島浜一丁目地区において、国際競争力の強化に資する宿泊機能や観光・文化発信機能等を導入するとともに、中之島公園（堂島公園）を中心とした水辺の新たなにぎわい拠点の創出、快適な歩行者空間の確保などを図ることにより、都市の再生に貢献し、土地の合理的かつ健全な高度利用を図る。

概要

<区域図>



主要用途：事務所、ホテル、店舗
敷地面積：約3,570m²
階数：地上32階、地下2階
建物高さ：約143m
延床面積：約67,000m²
完成予定：2024年上期 竣工



断面図(南北)

主な公共貢献項目

- ・国際競争力の強化に資する宿泊機能の導入
- ・観光・文化発信機能等の導入
- ・水辺の新たなにぎわい拠点の創出
- ・快適な歩行者空間の確保



イメージ図

最近の特区の活用事例 「大手前一丁目地区」(2021年1月決定)

大手前一丁目において、テレビ局の機能更新による情報発信機能の強化や国際競争力の強化に資する宿泊機能等を導入するとともに、大阪城公園や水辺空間と調和した空間・景観形成を図ることにより、大阪城公園の玄関口にふさわしい観光拠点機能の強化を図る。

区域図



主な公共貢献項目

●都市機能の整備	①テレビ局の機能更新 (情報発信機能の充実によるメディア拠点の強化) ②高規格ホテルの整備(観光拠点の形成)
●地域の回遊性の向上に資する歩行者空間等の整備	①水辺の多目的歩行者空間、多目的ホールの整備 ②ゆとりある多目的広場の整備 ③歩行者用通路の整備 ④大阪城へ向かう案内板の設置 など
●防災及び環境性能の向上と地域の魅力向上	①災害時の帰宅困難者への対応 ②地域の賑わい創出 など

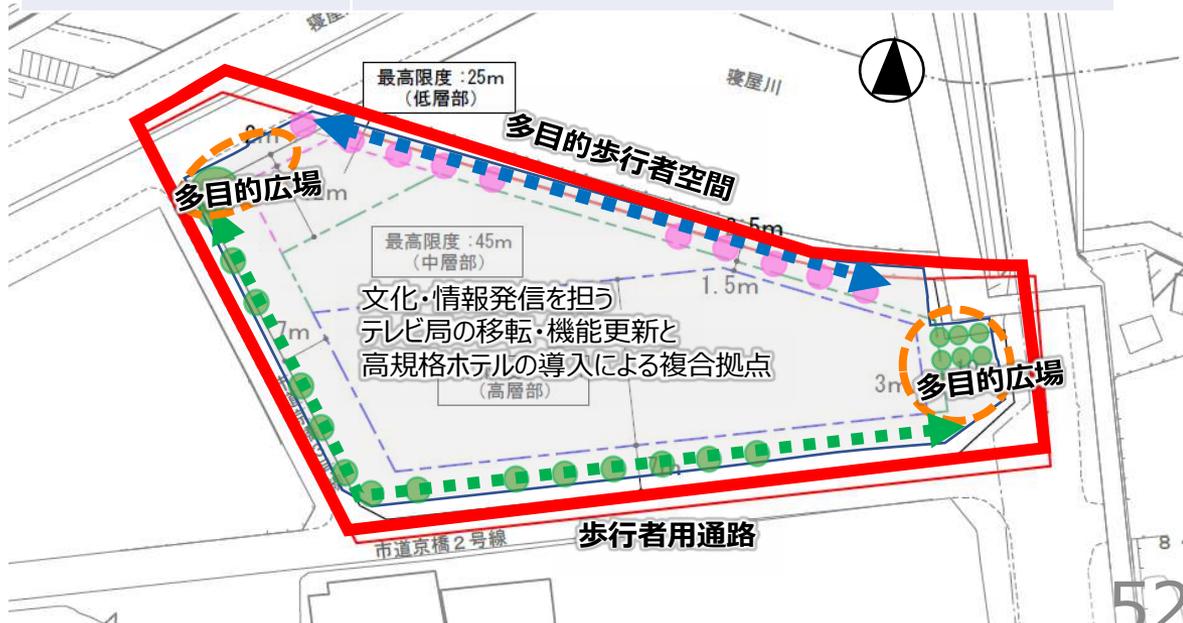
主な公共貢献

■ 施設概要

用途：テレビ局・ホテル・事務所
敷地面積：4,372.56㎡
延床面積：38,809.55㎡
竣工：2023年12月31日(予定)
開業：2024年春(予定)

■ 都市計画による規制緩和項目

容積率 600% ⇒ 800%



【6】大阪都市計画局が取り組む 府内の事業

《箕面森町》

「多世代共生・環境共生・地域共生」をテーマに、世代を超えて誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進。

- ・事業期間：H8年度～R5年度
- ・施行地区面積：313.5ha
- ・計画人口（現状）：6,000人（約5,200人）
- ・換地処分公告（R2.5）
- ・保留地最終処分(R3年度末予定)



箕面森町地区

《彩都（国際文化公園都市）》

彩都東部地区の各区域では、彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会を通じ、土地区画整理組合設立への支援や都市計画に関する調整など、まちづくりに向けた取り組みを推進。



彩都地区

《千里NT・泉北NT（ニュータウン再生）》

人口の減少や公的住宅、道路等の都市施設の老朽化等の問題に対応するため、大阪府、地元市、公的団体等が連携、協働のもと、千里ニュータウン・泉北ニュータウン再生に向けた取り組みを推進。



泉北NT（泉ヶ丘駅周辺）近畿大学医学部・病院イメージ（近畿大学HPより）

《りんくうタウン》

りんくうタウンにおける企業誘致や土地分譲を進めるとともに、民間事業者や地元市町が主体で進めるまちのにぎわいづくりを促進し、公民の連携によるりんくうタウンの活性化を推進。



りんくうタウン（SENNAN LONG PARK HPより）

《阪南スカイタウン》

周囲の自然環境と調和した美しい街となり、教育施設や利便施設が立地し、産業の誘致も進んでいる。

大規模な未利用地が残っており、地元市とともにその活用方策を検討し、緑豊かでゆとりと潤いのあるまちづくりを推進。



阪南スカイタウン

《自転車を活用したまちづくり》

関西各地のサイクルルートを連携させ、大阪湾をはじめ、関西の豊かな自然や世界遺産などの歴史・文化資源等を、誰もが楽しめるよう、自転車を活用した広域連携によるまちづくりに向けた取り組みを推進。

《生駒山系の自然を活かしたまちづくり》

奈良県を含む生駒山系の周辺自治体との連携会議や民間主導による歴史遺産等の地域資源を巡る「サイクルロゲイニング」等の実施により、広域連携による地域の活性化やまちづくりを推進。

《淀川沿川の魅力を活かしたまちづくり》

公民連携による淀川沿川の地域資源を高め、つなぐことによる、流域全体の魅力あふれるまちづくりの取り組みを推進。2025大阪・関西万博に向けて、国において淀川大堰閘門が整備されることで、京都から大阪までの航路がつながることから、にぎわいの創出や魅力向上を図り、淀川沿川のまちづくりを促進。

《大阪広域ベイエリアのまちづくり》

夢洲における万博・IRのインパクトや泉州地域沿岸部の様々な地域資源を活用し、ベイエリア全体の活性化に向けた取り組みを推進。



さくらであい館 走行会



淀川を航行する観光船（淀川河川事務所HPより）



CRESCENT-LINK OSAKA-BAY
クレセント リンク・おおさかベイ

開催概要

- 趣 旨 生駒山系南部の自然環境や歴史・文化的資産等の地域資源を広域に巡ることで、参加者に地域の魅力を体感してもらうとともに、まちのにぎわいや交流を促進
- 日 時 令和3年11月14日（日）
- 会 場 スタート/ゴール 大阪府中部広域防災拠点内広場（大阪府八尾市空港1-209-7）
- 参加者数 102チーム・277名
- 主 催 特定非営利活動法人スポーツサイクリング FABU project
- 後 援 大阪府、奈良県、八尾市、柏原市、平群町、三郷町、(公財)大阪観光局、大阪サイクリング協会、大阪府自転車軽自動車商業協同組合

当日の様子

【開会式】



【スタート】



【チェックポイント】



【ゴール】



【ファミリー 4 時間の部 表彰】



【一般 4 時間の部 表彰】



【一般 6 時間の部 表彰】



【協賛・協力企業 リーフレット】



淀川沿川の魅力を活かしたまちづくり ~淀川大堰閘門と舟運によるまちづくり~



閘門のしくみ

閘門は、水位差のある水面の間を結ぶ船のエレベーターの役割を果たします。

- 1 片方のゲートが開き、船が閘門に入ります。
- 2 ゲートを閉じ、閘門内と出口側の水位を揃えます。
- 3 反対側のゲートを開き、船が出ていきます。

淀川大堰閘門の整備に着手

淀川の航路は、大川と淀川の分派点に位置する淀川大堰によって分断され、行き来ができなくなっています。上下流を結ぶ閘門を設置することによって、淀川河口・大阪湾と淀川上流の間を船が行き来できるようになります。大阪・関西万博開催までの完了を目指し、淀川大堰閘門の整備を令和3年度から推進していきます。



淀川大堰閘門 完成イメージ図



閘門設置前の淀川大堰周辺

閘門設置後の淀川大堰周辺

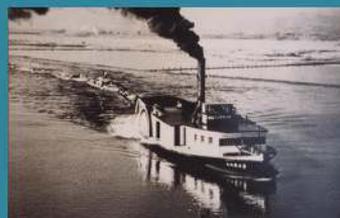
舟運の全盛

舟運の衰退

舟運の復活

淀川舟運の歴史と現状

舟運 [しゅううん] とは、船を使って物資や人を輸送することです。昭和初期までの淀川の舟運は、大阪と京都を結ぶ人々の生活に欠かせない輸送の手段でした。



昭和初期まで淀川で運航していた外輪船

しかし、陸上交通の整備が昭和初期頃から広がったことにより、舟運は徐々に人々の暮らしから遠ざかりました。



平成29年より定期運航されている観光船

阪神淡路大震災からの復興で舟運が活躍したことから、舟運の必要性が見直されました。また観光の役割も担う重要な手段としても認識され、大川の八軒家浜船着場と枚方緊急船着場を結ぶ定期運航が始まるなど、舟運復活の機運が高まっています。

舟運に期待される役割

災害時

舟運を利用した復旧活動



阪神淡路大震災における舟運を活用した堤防復旧

阪神淡路大震災の際には、被災した淀川堤防の復旧に舟運が活用されました。災害時には陸上交通が麻痺することが想定されるため、舟運の活躍が期待されます。

公共工事

淀川沿川の公共工事への活用



阪神なんば線淀川橋梁架け替え工事における舟運の活用

淀川の舟運はこれまで淀川大堰より下流域の一部の公共工事で活用されてきましたが、淀川大堰閘門の完成により、上流域を含む淀川沿川の様々な公共工事で、大規模な資機材や大量の土砂等の運搬に舟運の活用が期待されます。

観光

船で京都へ、万博へ



上流【青刺堀の桜と花見船】と下流【万博会場・夢洲】の観光資源

淀川大堰閘門が完成することによって、京都から大阪までの航路がつながることになります。2025年大阪・関西万博の会場である夢洲までの航路としての期待も高まります。

淀川舟運のこれから

淀川沿川には、多くの魅力ある観光資源が存在しています。また、2025年には大阪・関西万博が開催され、国内外からより多くの観光客が大阪・京都を訪れることが予想されます。淀川上下流の舟運分断の解消により防災対策、賑わいづくりを関係機関と連携して推進することで、魅力ある淀川となるよう努めていきます。

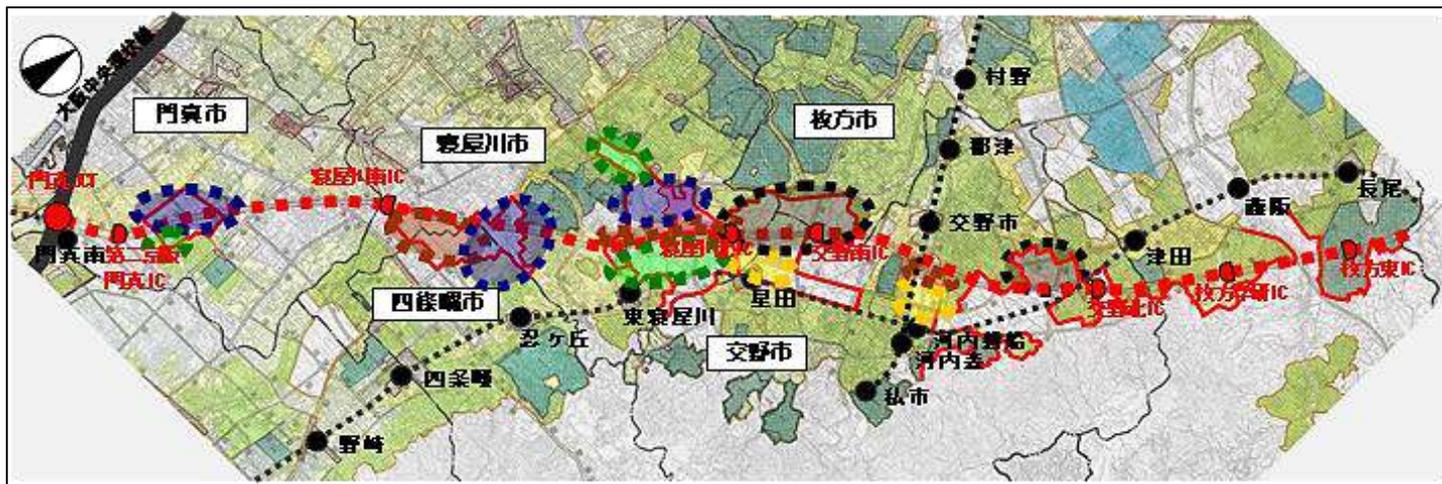


《第二京阪沿道まちづくり》

第二京阪道路沿道では、“緑豊かで活力ある土地利用”をめざすなど、土地の利用方針を示した「第二京阪沿道まちづくり方針（H21.12策定）」に基づき、農空間の保全に配慮しつつ、広域商業施設・流通業務施設等の立地を中心とした計画的なまちづくりを促進。

《外環状線沿道まちづくり》

大阪外環状線等の沿道では、計画的な土地利用を進めるための方針を示した「外環状線等沿道のまちづくりの方針（H28.1策定）」に基づき、農空間の保全・活用を図り、周辺環境や景観に配慮しながら、公民が連携して、都市的土地利用と農的土地利用が調和したまちづくりを促進。



第二京阪沿道土地利用ゾーニング図（第二京阪沿道まちづくり方針より）

ご清聴ありがとうございました



出典：2025年日本国際博覧会協会

終

60